平成３０年度

こおり教育要覧

〈 桑 折 学 習 塾 〉

福島県伊達郡桑折町教育委員会

〒９６９－１６９２　福島県伊達郡桑折町字東大隅１８

TEL&FAX　　０２４－５８２－２４０３

目　　次

1　桑折町の概要

（1）　桑折町の町章・花・木・鳥 ---------- 1

（2）　歴史・土地・産業・人口・交通 ---------- 2

（3）　町民憲章・歴代町長・歴代議長等 ---------- 3

2　桑折町教育委員会

■　桑折町教育大綱 ---------- 5

（1）　組織・機構 ---------- 6

（2）　予算 ---------- 7

（3）　重点 ---------- 8

3　学校教育

（1）　保育所・幼稚園・小学校・中学校一覧 ---------- 21

（2）　保育所・幼稚園・小学校・中学校沿革 ---------- 22

（3）　歴代校長名簿 ---------- 27

（4）　中学校卒業生の進路状況 ---------- 28

（5）　児童生徒数 ---------- 28

（6）　児童生徒の体位 ---------- 29

（7）　学校給食事業 ---------- 31

4　生涯学習

（1）　生涯学習課組織機構 ---------- 33

（2）　生涯学習関係審議会・機関 ---------- 34

（3）　生涯学習関係団体 ---------- 35

（4）　主な事業 ---------- 36

（5）　生涯学習関係施設一覧 ---------- 41

5　社会教育・スポーツ関係沿革 ---------- 43

6　参考資料

（1）　平成３０年度桑折町教育委員会の重点施策全体構想 ---------- 47

（2）　桑折町のめざす１５歳の姿 ---------- 48

（3）　平成３０年度桑折町こども園、各学校の経営・運営ビジョン

ア　醸芳保育所 ---------- 49

イ　醸芳幼稚園 ---------- 50

ウ　醸芳小学校 ---------- 51

エ　睦合小学校 ---------- 52

オ　半田醸芳小学校 ---------- 53

カ　伊達崎小学校 ---------- 54

キ　醸芳中学校 ---------- 55

1　桑折町の概要

（1）　桑折町の町章・花・木・鳥

町　章

昭和４０年制定　上半円で「コ」下で「オ」中の白地で「リ」を表します。
全体に弧を描く鵬は町の和と飛躍を示し、平仮名の「こ」は半田山
を象徴しています。

町の花　『モモ』

桑折の春を花霞で美しく彩ります。実は、くだものの町を代表する逸品です。

町の木　『アカマツ』『カヤ』

桑折の大地が育んだ緑。どっしりと根を下ろし、町の四季を見守っています。

町の鳥　『カッコウ』

美しさの中にどこか愛嬌のある鳴き声は、夏の訪れを告げる風物詩です。

～「こおり」という地名と桑折町の誕生～

その名前が歴史に登場したのは奈良・平安時代。 東山道に駅家(うまや)が設置され、郡家がおかれたところから桑折と改められました。昭和 30 年には町村合併促進法に基づいて旧桑折町、睦合村、伊達崎村、半田村が合併して今の“桑折町”が誕生しました。

（2）　歴史・土地・産業・人口・ 交通

◆ 歴　　史 ◆

◎原始　大字南半田の平林遺跡から、旧石器時代の、２万５千年程前と考えられる石器群が出土している。

◎古代　６～７世紀頃の築造かと思われる塚野目古墳群の中では、大字伊達崎の錦木塚古墳が著名である。

平安期には郡の再編で信夫郡から伊達郡が分かれ、郡衙が置かれたことから『郡』の地名となったとされている。

◎中世　１１８９年（文治５年）源頼朝の藤原攻めで軍功のあった中村朝宗が伊達郡を与えられ姓を伊達とした。以来、伊達氏は大字万正寺の西山城を居城とし、１７代政宗に至るまでその勢いが及んだ。

◎近世　豊臣秀吉の奥羽仕置きにより、伊達・信夫両郡は蒲生氏郷に与えられ、１５９８年（慶長３年）からは、上杉氏が領し、新田開発、殖産に力を注いだ。

佐藤新右衛門らによる西根下堰（１６１８年）西根上堰（１６２５年）の開鑿や半田銀山の採鉱、養蚕業の隆盛などは、本町の歴史にとって重要である。

１６８６年（貞享３年）奥州街道・羽州街道の分岐点である桑折に桑折代官所が設置された。

◎近代　１８８３年（明治１６年）伊達郡役所が保原から桑折に移転新築された。

１８８９年（明治２２年）１１村が合併して桑折町、睦合村、半田村、伊達崎村となった。

１９５５年（昭和３０年）更に1町3村が合併して桑折町が誕生した。

◎現代　２００４年（平成１６年）には、地方自治法及び市町村合併特例法（昭和４０年法律第６号）に基づく伊達郡７町による合併協議会には加わったものの伊達市の合併には参加せず、自立の道を選択し、平成２７年1月1日に町制施行６０周年を迎えた。

◆ 土　　地 ◆

総面積　　４２．９７㎢
- 農地　　３０．７％（内　水田１４．２％）
- 宅地　　６．９％
- その他　６２．４％（山林を含む）

〔平成28年度　概要調書〕

東経　１４０度３０分　北緯　３７度５０分

〔国土地理院〕

中央標高　　８４．６ｍ
半田山標高　８６３．１ｍ

◆ 産　　業 ◆

農産物収穫量　（平成２８年調）
- 米　　１，９３０ｔ

〔福島県農林水産統計年報・作物統計調査〕

製造品出荷額等　５９４億５５８１万円

〔H２６　工業統計調査〕

工場数　３８（従業者４人以上）
- 機械器具・金属　１５　・飲食料品　８
- 繊維　１　・その他１４

〔H２６ 工業統計調査〕

◆ 人　　口 ◆

〔住民基本台帳より各年4月１日現在〕

明治	９年	８，９００人
	３３年	１３，４９３人
大正	９年	１２，５５０人
昭和	５年	１３，３０６人
	１５年	１３，４６６人
	２５年	１７，３０７人
	３５年	１５，８１４人
	４５年	１４，７２３人
	５５年	１４，９０３人
平成	２年	１４，６９２人
	７年	１４，２２１人
	１２年	１３，７００人
	１７年	１３，４０９人
	２２年	１３，２５４人
	２３年	１３，０７９人
	２４年	１２，７９２人
	２５年	１２，６０１人
	２６年	１２，５０８人
	２７年	１２，４０６人
	２８年	１２，２４０人
	２９年	１２，１８０人
	３０年	１２，０５５人

◆ 交　　通 ◆

明治２０年（１８８７）	東北本線開通
昭和３２年（１９５７）	現国道４号着工
昭和３５年（１９６０）	現国道４号開通
昭和３５年（１９６０）	東北本線電化
昭和５０年（１９７５）	東北自動車道開通
昭和５７年（１９８２）	東北新幹線開通
平成　７年（１９９５）	国道４号一部４車線完了

（３）　町民憲章　歴代町長　歴代議長等

桑折町町民憲章

（昭和６０年９月制定）

桑折町は、阿武隈川の清い流れと、緑につつまれた半田山のふもとにひらけた古い歴史をもつ由緒ある町です。

私たちは、この町の、伝統ある歴史と文化、恵まれた自然環境を守り、さらにこの町を、活力ある町に育てて後世に引き継ぐために、町民みんなの誓いとしてここに町民憲章を定めます。

○ 歴史と伝統を尊び、かおり高い、文化の町をつくりましょう。

○ 恵まれた自然を愛し、環境を整え、緑の町をつくりましょう。

○ 心身をきたえ、健康で、明るい町をつくりましょう。

○ 勤労にはげみ、活力ある、豊かな町をつくりましょう。

○ きまりを守り、助け合う心を育て、住みよい町をつくりましょう。

◆ 歴　代　町　長 ◆

① 早田傳之助 S30.2～	② 宍戸　房吉 S34. 2～	③ 菊田　芳衛 S50.9～	④ 安細　隆清 H2. 9～	⑤ 林王喜久男 H14.9～
⑥ 髙橋　宣博 H22.9～				

◆ 歴代町議会議長 ◆

① 宍戸 房吉 S30. 10～	② 朽木久三郎 S32. 10～	③ 安細喜太郎 S42. 10～	④ 栗花儀兵衛 S49. 12～	⑤ 近藤　清 S50. 10～
⑥ 亀岡 義彦 S54. 10～	⑦ 山川 角蔵 S57. 12～	⑧ 佐藤 義夫 S62. 10～	⑨ 近藤　宏 H 7. 10～	⑩ 奥山 敏夫 H11. 10～
⑪ 髙橋 宣博 H15.10～	⑫ 浅野　義雄 H22.7～	⑬ 半澤　高 H23.10～	⑭ 片平　秀雄 H27.10～	

◆ 歴 代 教 育 長 ◆

① 熊坂惣兵衛 S30.4～	② 遠藤　勉 S39.10～	③ 遠藤 伊雄 S52.5～	④ 大友　寛 S60.10～	⑤ 村岡房之助 H 1.10～
⑥ 岩谷　敬恒 H8.10～	⑦ 荒海　健二 H14.1～	⑧ 室井　君男 H21.4～	⑨ 安藤　重男 H23.1～	⑩ 会田　智康 H27.4～

◆ 現 教 育 委 員 ◆

① 柴田　宣広 H22.10～	② 大波　敏子 H18.10～	③ 鈴木 キヨ子 H27.10～	④ 小野 紀章 H28.10～

◆ 歴代教育委員 ◆

	職名	氏名	在任期間	住所
1	教育長	熊坂惣兵衛	昭和 30. 7 ～ 57. 9	陣屋
2	委員	大越宇市	31.10 ～ 41. 9	松原字西原
3	委員	奥山覺三	31.10 ～ 34. 9	谷地字道下
4	委員	朽木吉明	31.10 ～ 51. 9	上郡字古寺
5	委員	佐藤俊夫	31.10 ～ 41. 9	陣屋
6	委員	鈴木夕ネ	35.10 ～ 50. 9	谷地字追分
7	教育長	遠藤勉	39.10 ～ 52. 4	陣屋
8	委員	古山千代壽	41.10 ～ 45. 9	成田字引地
9	委員	氏家武兵衛	41.10 ～ 50. 9	北町
10	委員	八木沼惣兵衛	45.10 ～ 57. 9	松原字柳沢前
11	委員	角田道子	50.10 ～ 53. 1	北町
12	委員	佐々木才吉	50.10 ～ 58. 9	北半田字栗和田
13	委員	八巻敏榮	51.10 ～ 59. 9	上郡字菜洗場
14	教育長	遠藤伊雄	52. 5 ～ 60. 9	福島市飯坂町湯野
15	委員	高原アイ	53.10 ～ 59. 9	北町
16	委員	柴田宣教	57.10 ～ H6. 9	平沢字山中
17	委員	鈴木三元	58.10 ～ H7. 9	谷地字追分
18	委員	半澤金兵衛	59.10 ～ H4. 9	本町
19	委員	石幡セツ子	59.10 ～ H4. 9	伊達崎字吉沼
20	教育長	大友寛	60.10 ～ H1. 9	梁川町栗野
21	教育長	村岡房之助	平成 1.10 ～ 8. 9	福島市八島町
22	委員	大内一夫	4.10 ～ 18. 9	伊達崎字西舘
23	委員	粟野章	4.10 ～ 13.12	北町
24	委員	八木沼惣一	6.10 ～ 18. 9	松原字柳沢前
25	委員	半澤敏子	7.10 ～ 19. 9	南半田字二本木
26	教育長	岩谷敬恒	8.10 ～ 14. 9	福島市鎌田
27	委員	佐藤好久	14. 2 ～ 20. 9	北町
28	教育長	荒海健二	14.11 ～ 21. 3	福島市笹木野
29	委員	佐藤善利	18.10 ～ 22. 9	松原字北向
30	委員	大波敏子	18.10 ～	下郡字古舘
31	委員	安藤重男	19.10 ～ 27. 3	谷地字道下
32	委員	安齋恵子	20.10 ～ 28. 9	沢
33	教育長	室井君男	21. 4 ～ 22.12	福島市笹木野
34	委員	柴田宣広	22.10 ～	平沢字山中
35	委員	羽根田忠一	23. 1 ～ 27. 9	北半田字古舘
36	委員	鈴木キヨ子	27.10～	南半田字六角
37	委員	小野紀章	28.10～	新町

桑　折　町　教　育　大　綱

（平成２９年８月２１日 総合教育会議で決定）

本教育大綱は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定に基づき、町長が、町の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるものである。

本町においては、平成２８年１２月に新しい町の総合計画「献上桃の郷こおり創生プラン」を策定したところであり、今回その内容を踏まえて従来の教育大綱を次のように変更し、その計画期間も新総合計画と同様に平成２９年度から平成３３年度までとする。今後の５カ年において、歴史と文化の町にふさわしい質の高い教育や生涯学習の実現に向けた仕組みづくり・基盤づくりをしっかりと進め、本町の子どもたちの大きな可能性の実現と、町民一人ひとりの生きがいや自己実現をめざして、この教育大綱を策定する。

１　基本方針　復旧と復興から創生をめざす桑折町総合計画「献上桃の郷こおり創生プラン」に基づき、町の未来像「みんなとつながり みんなが活躍できる 安心のまち桑折」の実現に向け、教育・文化・スポーツ行政を推進する。

２　基本目標　「志高い人材を育む“学び”の醸成」を推進するため、右の目標を定める。

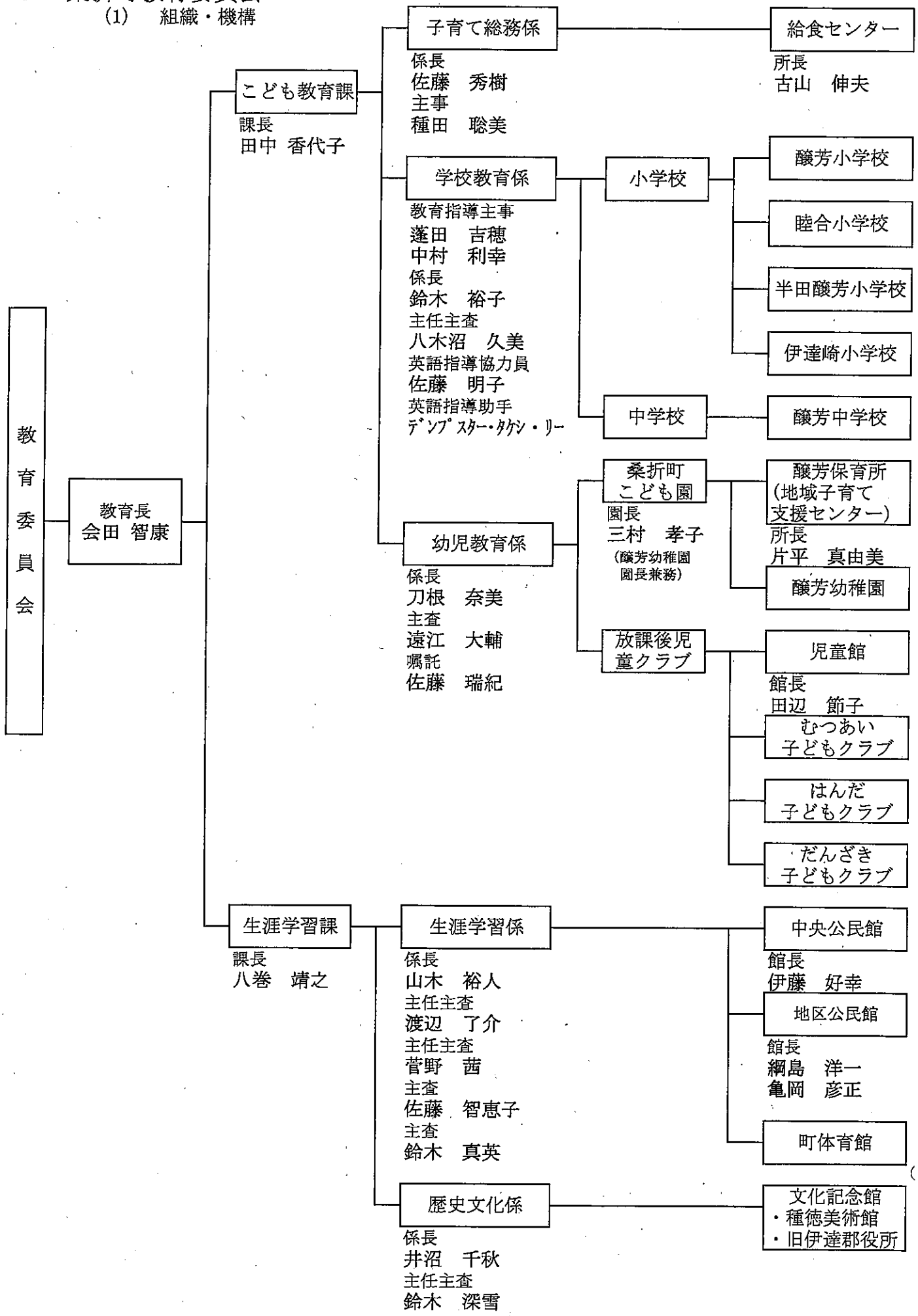
（１）知・徳・体の基礎を身につけ、高い志を持った「桑折町の１５歳のめざす姿」の実現
（２）保育所・幼稚園から小学校・中学校までの育ちと学びの一貫性を大切にした教育の推進
（３）各世代の学びを醸成する生涯学習活動の推進、社会体育・生涯スポーツ活動、文化芸術活動の振興

３　施策の体系と重点

（１）　子育て支援 ○ 子ども・子育て支援事業の推進 ○ 青少年の健全育成 ○ 屋内遊び場を活用した子育て支援の充実	＜子育て支援の重点＞ ◆ 保育所や預かり保育の“待機児童ゼロ”を今後とも継続していくため、受け入れ体制を一層充実させるとともに、子育て世代への情報提供や相談体制整備を進め、保護者が安心して子育てできる環境の整備に努める。 ◆ 保育所や統合幼稚園において、質の高い保育・教育の実施と、施設・設備の充実に努める。 ◆ 幼稚園給食費無料化・多子世帯授業料軽減・制服支給など、幼児教育等にかかる経済的支援を引き続き推進する。
（２）　乳幼児保育と教育 ○ 乳幼児保育の充実 ○ 幼稚園教育の充実 ○ 幼児教育にかかる経済的支援	
（３）　小中学校教育 ○ 教育内容の充実 ○ 教育施設の充実 ○ 学校教育にかかる経済的支援	＜学校教育の重点＞ ◆ 確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランスよく育て、児童生徒に「生きる力」を身に付けさせていくため、生活習慣改善・学力向上・体力向上・生徒指導・特別支援教育に重点的に取り組む。 ◆ 学力向上に向け、教員の指導力向上のための研修、生活習慣改善のための特別授業、読み・書き・計算の徹底反復、桑折学習塾などの施策を推進する。 ◆ 小・中学校の施設・設備の充実に努める。 ◆ 新学習指導要領への移行に伴い、道徳教育・英語教育・ふるさと教育の充実を図り、指導体制を整備する。 ◆ 奨学資金貸与・就学援助・制服支給など、学校教育にかかる経済的支援を引き続き推進する。
（４）　生涯学習 ○ 生涯学習活動の推進 ○ 芸術・文化の振興 ○ 公民館施設等の充実 ○ 多文化交流の促進	＜生涯学習の重点＞ ◆ 青少年健全育成活動の推進強化を図るとともに、「イコーゼ！」活用による子育て・スポーツ事業の展開に努める。 ◆ 「地域人材バンク」の整備や地区公民館活動の活性化により、生涯学習活動の一層の推進を図る。 ◆ 町民の芸術・文化活動の奨励・支援や、芸術・文化事業の拡充に努める。 ◆ 社会教育・社会体育関係の施設・設備の充実に努める。 ◆ 姉妹都市交流などの多文化交流の促進に努める。
（５）　生涯スポーツ ○ 健康・体力づくりをめざす生涯スポーツの推進 ○ 体育施設等の充実	
（６）　歴史まちづくり ○ 文化財の保護と活用 ○ 「歴史的風致維持向上計画」の推進	＜文化財保護・活用の重点＞ ◆ 有形・無形の歴史的遺産の調査と文化財指定の推進、及び保護・活用の促進に努める。 ◆ 史跡桑折西山城跡整備事業を推進する。 ◆ 「桑折町歴史的風致維持向上計画」に基づき、歴史資源を活かしたまちづくりを推進する。

2　桑折町教育委員会

(1)　組織・機構



（2）予　算

◆ 教育予算

（単位：千円）

項	目	金　額	説　明
1. 教育総務費 １３３，２４７	教育委員会費	１，１９２	教育委員会運営費
	事務局費	１１７，５８５	職員人件費　事務局管理費　就学事務費 英語指導助手受入事業費　学力向上対策事業費 ｽｸｰﾙｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ緊急派遣事業委託費
	子育て支援事業	１４，４７０	子育て支援事業費
2. 小学校費 ６４，９１３	学校管理費	５０，７９８	小学校管理総務費　小学校管理費
	教育振興費	１４，１１５	小学校運営総務費　小学校運営費
3. 中学校費 ２６，４７２	学校管理費	２１，８３１	中学校管理総務費　中学校管理費
	教育振興費	４，６４１	中学校運営費
4. 幼稚園費 １６８，５２６	幼稚園費	１６８，５２６	職員人件費　幼稚園管理総務費　幼稚園管理費
5. 社会教育費 ２２４，４３３	社会教育総務費	６３，０８８	職員人件費　社会教育総務管理費　生涯学習振興費
	公民館費	４９，５２１	公民館総務費　公民館活動振興費　公民館施設維持管理費　芸術・文化活動振興費
	文化財保護費	１１１，８２４	文化財保護総務費　文化財調査費　文化財保護管理費　文化財保護整備費
6. 保健体育費 １９６，９４２	保健体育総務費	４２６	保健体育総務管理費
	体育施設費	８２，３９０	体育活動振興費　体育施設維持管理費
	給食施設費	１１４，１２６	給食センター総務費　給食センター施設運営費

◆ 福祉予算

（単位：千円）

項	目	金　額	説　明
2. 児童福祉費 １７８，５４５	児童福祉施設費	１３９，５４４	職員人権費　保育所管理運営費
	児童福祉費	３９，００１	児童館管理運営費 放課後児童健全育成事業費

（３） 平成３０年度 桑折町教育委員会重点

Ⅰ 基本方針

復旧と復興から創生をめざす桑折町総合計画『献上桃の郷こおり創生プラン』に基づき，町の未来像「みんなとつながり みんなが活躍できる 安心のまち 桑折」の実現に向け，教育・文化・スポーツ行政を推進する。

Ⅱ 基本目標

「志高い人材を育む“学び”の醸成」を推進するため，次の目標を定める。

1 知・徳・体の基礎を身につけ，高い志を持った「桑折町の１５歳のめざす姿」の実現
2 保育所・幼稚園から小学校・中学校までの育ちと学びの一貫性を大切にした教育の推進
3 各世代の学びを醸成する生涯学習活動の推進，社会体育・生涯スポーツ活動、文化芸術活動の振興

Ⅲ 重点施策

1 子育て支援
○ 子ども・子育て支援事業の推進 〔こども教育課〕
○ 青少年の健全育成、屋内遊び場を活用した子育て支援の充実 〔生涯学習課〕

2 乳幼児保育と教育
○ 乳幼児保育の充実、幼稚園教育の充実、幼児教育にかかる経済的支援 〔こども教育課〕

3 小中学校教育
○ 教育内容の充実、教育施設の充実、学校教育にかかる経済的支援 〔こども教育課〕

4 生涯学習
○ 生涯学習活動の推進、芸術・文化の振興、公民館施設等の充実、多文化交流の促進 〔生涯学習課〕

5 生涯スポーツ
○ 健康・体力づくりをめざす生涯スポーツの推進、体育施設等の充実 〔生涯学習課〕

6 歴史まちづくり
○ 文化財の保護と活用、「歴史的風致維持向上計画」の推進 〔生涯学習課〕

乳幼児保育・教育の重点

○ 保育・教育内容の充実及び安全・安心な教育環境の整備を図り、知・徳・体バランスの取れた質の高い教育を推進し、心豊かにたくましく生きる子どもたちを育成する。
○ 「桑折町の１５歳のめざす姿」の実現をめざし、保育所、幼稚園から小学校、中学校までの育ちと学びの連続性と一貫性を大切した教育を推進する。
○ 子どもの健やかな成長と保護者が安心して子育てできる支援事業の推進に努める。

1　乳幼児保育・教育の充実

（１）乳幼児が安全安心に保育・教育を受けるための環境の整備と安全指導の充実に努める。

① 発達に即した環境の整備と施設・設備の点検を実施する。
- □ 日常的な施設・設備の安全点検実施

② 防災体制の確立及び日常生活における安全指導の徹底を図る。
- □ 実効性ある避難訓練等の実施
- □ 立哨指導による交通安全啓発活動の実施

③ 食品等のモニタリングによる安全安心な給食を提供する。
- □ 食品のモニタリングと結果の公表

（２）心豊かにたくましく生きる子どもたちを育成するため、知・徳・体バランスの取れた質の高い教育を推進する。

① 保育所保育計画、幼稚園教育計画により保育・教育の充実を図る。
- □ 新保育所保育指針、新幼稚園教育要領を踏まえた保育所保育計画、幼稚園教育計画の作成
- □ 環境を通しての遊びを中心とした総合的に行う保育・教育活動の実施

② 心の安定と自己肯定感を育む集団づくりに努める。
- □ 幼児の言動を肯定的に受け止める保育・教育の実施
- □ 自己表出できる友達関係の育成

③ 運動遊びを中心とした体を動かす活動の充実を図る。
- □ 体力向上１園(学級)１実践の取組
- □ 外部講師による運動遊び、ダンス教室の実施

④ 読書活動の推進を図る。
- □ 絵本コーナーの充実と活用
- □ 家庭での読み聞かせの奨励

⑤ 文化や芸術など様々なものに触れ経験する中で豊かな心を育む。
- □ 異文化体験活動の推進
- □ 芸術鑑賞機会の充実
- □ 音楽に親しむ活動の推進
- □ 飼育、栽培活動の充実

⑥　英語に親しむ活動の充実を図る。

□　外部講師による英語で遊ぼうの実施

⑦　総合的な指導力、保育力の向上に努める。

□　一人１回以上の園内保育研究会の実施

□　外部講師を招聘しての研修会の実施

□　先進園への視察研修

□　小学校と連携した保育研究会の実施

□　経営自己評価や指導の自己評価、保護者からの園(所)評価の実施

□　学校評議員会の開催

（３）特別な支援を必要とする乳幼児の支援体制の確立と指導力の向上に努める。

①　特別な支援を必要とする乳幼児への支援体制を確立する。

□　保育補助・支援員の配置

□　園内委員会の定期的な開催

□　関係機関との連携強化

□　特別支援教育についての保護者の理解促進

②　特別な支援を必要とする乳幼児への支援内容の充実を図る。

□　特別支援教育に関する研修機会の確保

（４）異校種の教育内容や指導の在り方について共通理解を図り、円滑な接続を意図した保育・教育を推進する。

①　こども園内の連携・交流を推進する。

□　こども園保育研究会の実施

□　所児と園児の交流活動の実施

②　小・中学校との連携・交流を推進する。

□　小・中学校の授業研究会への参加

□　園児と小学生の交流活動の実施

□　職場体験活動等の受け入れ

（５）家庭や地域社会との連携を図る。

①　望ましい生活習慣の確立に向けた取り組みを推進する。

□　教育講演会の実施

□　「家庭生活習慣のポイント」の推進

②　虫歯予防の取り組みを推進する。

□　フッ化物洗口の実施

□　歯科衛生士による歯磨き指導の実施

③　地域の教育力を生かした保育・教育を推進する。

□　保護者の園行事等への参加

□　地域資源の積極的な活用

2　子ども・子育て支援事業の推進

（1）多様な子育て家庭に対応した事業の推進に努める。

①　子育て支援事業の充実を図る。

□　在宅児に対する親子遊び場、交流の場の提供

□　『頭のよい子に育てるために今すぐ絶対やるべきこと』（川島隆太　博士著）を活用した家庭の教育力向上

②　保護者の就労等へ対応した預かり保育・放課後児童健全育成事業の充実を図る。

□　預かり保育・放課後児童保育支援員打ち合わせ・研修会の実施

□　放課後児童保育運営体制の確立

□　児童館長による放課後児童保育の巡回指導

□　幼稚園や小学校との情報の共有化

□　長期休業中等を中心とした体験活動の充実

□　特別な支援を必要とする園児・児童に対する保育の充実

③　子育て家庭の経済的支援の推進に努める。

□　幼稚園入園祝い品（制服）支給事業の実施

□　多子世帯の幼稚園授業料の軽減

□　在宅児の一時預かり保育及び在園・在所児の病児・病後児保育利用料助成事業の実施

（2）桑折町子ども・子育て支援事業計画を推進する。

①　子ども・子育て支援事業の総合的かつ計画的な推進に努める。

□　桑折町子ども・子育て会議の開催

□　子育て世帯へのニーズ調査の実施

②　分かりやすい子育て情報発信の工夫に努める。

□　子育て支援情報誌等の作成及び町ホームページの活用

学 校 教 育 の 重 点

○　教員の指導力の向上と教育内容の充実を図り、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和的・一体的・関連的な育成を基盤として、児童生徒の「生きる力」をはぐくむ。

○　「桑折町の１５歳のめざす姿」の実現をめざし、幼稚園から小学校、中学校までの育ちと学びの連続性と一貫性を大切にした教育を推進する。特に、生活習慣の確立・学力向上・体力向上・生徒指導推進・特別支援教育の充実の５点に重点的に取り組む。

１　「生きる力」を身につけさせていくための生活習慣改善・学力向上・体力向上・生徒指導・特別支援教育への取組

（１）学力向上への取組

① 生活習慣改善のための基盤づくり

ア 脳科学の研究成果を活用して、学習習慣・生活習慣の確立を図る。

□　『元気な脳が君たちの未来をひらく』（川島隆太 博士著）を活用した授業の実践

□　生活習慣改善・学習習慣の確立をめざす特別授業の実施

□　「家庭生活習慣のポイント」の広報・活用、実態調査

イ 生活改善・充実のための推進会議の開催と充実に努める。

□ 町園長・校長会議での協議

□ 「学びのスタンダード」事務局による推進会議の開催

② 「確かな学力」の向上を支える基盤づくり

ア 「読み・書き・計算の徹底反復」による、集中力や基礎的知識・技能の向上を図る。

□ 「読み・書き・計算の徹底反復」の計画的な実施と充実

□ 「読み・書き・計算の徹底反復」研修会の実施（年２回）

イ 学びの質を高める学習集団を育成する。

□ 桑折町の「学びのスタンダード」を基本とした学習スタイルの確立と徹底

□ Q-U 検査における「学力とのクロス集計」結果の活用

ウ 児童生徒の学習を支援する「桑折学習塾」を定期的に開催する。

□ 小学生対象（算数・国語）

□ 中学生対象（数学・英語）

③ 授業の改善・充実

ア ふくしまの「授業スタンダード」に基づく授業改善と充実を図る。

□ １校１指定公開授業研究の充実（内一つは、阿部教授の指導による）

□ 授業力の向上を図る校内授業研究会の充実（外部講師の招聘）

イ 学力の実態把握と分析、対策の立案と実践に努める。

□ 町独自の学力検査（NRT 等）の実施と活用

□ 国・県の学力検査の活用

ウ 幼稚園、小学校と中学校との連携による授業研究の充実を図る。

□ 研修主任等による推進会議の開催と充実

□ 「授業改善・充実の視点」に基づく事前・事後授業研究会の充実

④ 教員研修の充実

ア 教員の専門性を高める教職員研修の充実を図る。

□ 研修意欲を基盤とした計画的・継続的な実効性のある校内研修の推進

□ 指導の連続性、専門性を深めて教員の資質・能力の向上を図る幼稚園、小・中学校の連携による授業研究会

□ 秋田の探究型授業に学ぶための視察とその成果の共有・活用

□ 教育委員会指導訪問（年１回）

イ 学習指導要領についての研修を深め、趣旨を踏まえた教育内容の検討、教育内容の明確化と授業改善への支援に努める。

□ 教員の専門性や実践的指導力の向上を図る各種研修の積極的な活用

□ 得意分野を生かし相互に認め合い高め合う校内研修への支援

⑤ 教育環境の整備と活用

ア 教育機器の効果的な活用に努める。

□ 電子黒板，デジタル教科書等 ICT を活用した学習活動の推進

□ 学習支援ボランティアの活用

イ 教育目標の実現、教職員の多忙化解消のために行事等検討委員会を設置する。

□ 桑折町行事等検討委員会を設置し、町行事や学校行事、その他の教育活動の精選審議

（２）健康教育の充実と体力向上への取組

① 生涯にわたり健康を支える体力づくり

ア 運動身体づくりプログラムの継続的な実践と徹底に取り組む。

□ 体育主任による「桑折町体力向上委員会」の開催と体育授業研究会の実施

イ 体力向上に向けた「1校（学級）１実践」に取り組む。

□ 業間運動や昼休み等の時間の活用（長距離走の奨励）、部活動の奨励

ウ 桑折町「子どもの体力向上プラン」にそった体力づくりに努める。

□ 新体力テスト結果分析と対策のための諸取組の充実

② 健康に関する理解を深め、自らの健康を適切に管理・改善していく資質や能力の育成

ア 自己の健康課題を把握し、解決していく学習を推進する。

□ 体育の授業や防災教育・放射線教育の一環としての学級活動等の授業

イ 家庭との連携による健康管理体制と基本的生活習慣を確立する。

□「家庭学習習慣のポイント」や「桑折町の１５歳のめざす姿」の段階的スタンダード等の活用

③ 安全・安心な給食の提供

ア 食材及び食品のモニタリングと公表を実施する。

□ 町広報紙や「献立表」「給食だより」等での広報

イ 講演会等で、健康維持増進のための食品摂取をめざした情報を提供する。

□ 各校において、PTA活動と連携した研修会等の実施

④ 学校給食を活用した「食育」の充実

ア 栄養士を中心とした「食育」を推進する。

□ 「食育授業」の意図的・継続的な実施

（3）生徒指導の推進

① 学校の教育活動全体に生徒指導の機能を生かし、不登校やいじめのない明るく生き生きとした学校生活の実現

ア 自己指導力を育み、自己肯定感を醸成する生徒指導体制を確立する。

□ 桑折町生徒指導委員会の定期的な開催と充実

イ 互いを認め合う、思いやりのある学級集団づくりを行う。

□ Hyper-QU検査結果の変容分析と活用

ウ 児童生徒と教職員、児童生徒相互の信頼関係や温かい人間関係を醸成する。

□ 体験活動の充実や構成的グループエンカウンター等のグループアプローチの実施

エ 幼稚園を含め、小中学校のきめ細かな情報連携・行動連携を一層推進する。

□ 園長・校長会議と桑折町生徒指導委員会の連携した取組

オ 児童生徒理解を基盤とした問題行動の未然防止と迅速な対応を図る。

□ 不登校対策会議の開催と情報の共有

カ いじめ防止基本方針に基づくいじめ防止等の対策を推進する。

□ いじめ防止年間計画の見直しといじめ防止発見チェックシートの活用

□ いじめ問題対策連絡協議会などによる連絡強化・組織的対応

② 教育相談の充実

ア 教育相談体制を確立する。

□ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置と活用

イ 教育相談の知識や技能を高めるための教職員研修を実施する。

□ 生徒指導研修会の開催（外部講師の招聘）

③ 情報モラル教育の充実

ア 有害情報へのアクセス等による犯罪の実態と被害防止の指導を強化する。

□ SNSモラル授業の実施

□ PTAと連携したSNSモラルに関する研修や啓発活動の実施

（４）特別支援教育の充実

① 就学指導の改善に努め、特別な支援を必要とする児童生徒の支援体制の整備・充実

ア 特別支援学級や新設する巡回型通級指導教室の教育活動の充実に努める。

□ 支援を必要とする児童生徒の情報共有（個別の支援計画の作成等）と支援体制の確立

□ 校内就学指導委員会の活性化と適正な就学指導

□ 各種セミナーや教室等を活用した保護者への啓発活動

イ 教育的ニーズに応える研修会を計画的に実施し、指導力の向上を図る。

□ 特別支援教育支援員の研修会を実施（年３回以上）

□ 教職員の理解を深めるための講演会や研修会の設定

２ 心の教育の充実

（１）特別の教科「道徳」の充実

① 道徳的価値を自分の事として理解し、多面的・多角的に深く考えたり、議論したりする道徳教育の充実

ア 道徳の時間における多様な展開を工夫する。

□ 道徳教育推進教師を中心とし、アクティブに課題を追究する授業づくり

□ 特別の教科「道徳」実施にしたがい、認め励ます評価と文章表記の工夫

イ 意図的・計画的な道徳的実践力を高める場の設定をする。

□ 毎時の道徳授業のポートフォリオ化（道徳ノート等）

（２）読書活動の推進

① 豊かな心を育む読書活動の充実

ア 「家読（うちどく）」を中心とした読書活動の充実を図る。

□「読書活動推進計画」に基づく読書活動の積極的な推進（読書調査の実施）

□ 図書ネットワークの活用推進

□ 保護者との連携・協力による「家読」の推進 ※毎月２３日「家読の日」

□ 学校図書館と「遊学館よも～よ」の連携による読書活動の推進

□ 学校司書の配置と活用（各小学校の月１回の訪問実施）

□ ボランティアによる「よみきかせ」や学校図書館の整備による読書環境の充実

（３）ふるさと学習の推進

① 郷土愛をはぐくむ

ア 郷土学習を推進し、ふるさとに愛着をもつ機会の拡充に努める。

□ ふるさとの自然、文化や歴史等について「知る」、「学ぶ」学習機会の設定

□ 旧伊達郡役所、種徳美術館、西山城跡、西根堰、半田銀山等の見学学習の推進

イ 体験活動、ボランティア活動を充実させ、郷土を愛する心、命の尊さ、社会性や規範意識などの「豊かな心」の育成

② 心を揺さぶる学習・体験

ア 自らが考え、実践できるボランティア活動や体験活動等の奨励と推進を図る。

□ 総合的な学習の時間や土曜学習等でのボランティアや体験活動の実施

□ 職場体験などのキャリア教育の充実

□ 鑑賞教室の実施

イ 各教科、総合的な学習の時間や道徳、特別活動、食育、土曜学習等における地域人材の活用や地域素材の教材化を図る。

□ 地域人材バンクの効果的な活用

□ 地域素材の教材化（ふるさと学習や道徳資料等）

3 各種教育課題への取組

（1） 新学習指導要領の移行に伴う英語教育の充実

① 指導体制を整備し、英語指導助手(ALT)・英語指導協力員の活用を図る

□ 英語指導協力員を活用しての外国語活動略案（毎時）の作成

□ 幼・小・中を通した英語指導助手（ALT）の活用

② 小学校教員の英語指導力の向上をめざして研修会を行う

□ 小学校のクラスルームイングリッシュを広めるために研修会の開催

□ デジタル新教材使用のための研修会の開催

（2） 安全教育の充実

① 身の回りの危険を予測し、自ら回避する能力や態度を育成する

□ 危険箇所の確認や情報提供

② 系統的な安全学習と組織的な安全指導に努める

□ 防災教育の基礎となる基本的な知識に関する指導の充実

□ リスクに対して健康な生活を送るための放射線教育内容の開発と推進

□ 学校環境の適切な安全管理

□ 防災マニュアルの見直しと関係機関との連携

（3） 環境教育の充実

① 低炭素・循環型社会に対応した環境教育を推進する

□ 学校における廃棄物の減量化やリサイクル、再生エネルギーに関する学習の推進

□ 生活の中でよりよい環境をつくろうとする意欲の喚起と実践指導の充実

□ ふくしま議定書の参加奨励

（4）国際理解・平和学習の充実

① 外国語活動・英語教育を核に国際理解教育の充実を図る

□ 学校や地域の実態に応じた指導計画の改善

□ 英語指導助手、英語指導協力員の効果的な活用

② 異なる文化や価値観を理解し、尊重する態度を育成するとともに平和への意識を高める

□ 被爆地（今年度は広島、次年度は長崎）への代表児童派遣と各校における平和学習の充実

□ 姉妹都市との交流

4 教育施設の整備

（1） 良好な教育施設の整備

① 教育施設の充実を図る。

□ 学校教育施設の維持管理と今後の点検・整備のあり方についての検討

□ 廃止した学校プールの取扱いの検討

5 学校教育にかかる経済的支援

（1） 子育て世帯への学校教育にかかる経済的支援の強化

① 子育て世帯に対応した経済的支援事業の推進に努める

□ 奨学資金制度の利用促進と充実の検討

□ 児童生徒への就学援助支給による経済的負担の軽減

□ 入学児童生徒への入学祝い品（制服）支援事業の実施

生 涯 学 習 の 重 点

○ 今日的課題や多様な町民ニーズの的確な把握に努める。
○ 町民が生涯にわたって学習のできる機会の創出や情報の提供に努める。

Ⅰ 生きがいと自己実現をめざす生涯学習の推進

1 生涯学習の推進

（1）生涯学習推進体制の充実を図る

□ 「生涯学習推進基本計画」（第２次）に基づく推進体制の確立

（2）いつでも、どこでもだれでもが学び合える生涯学習社会の実現のため、情報の提供と町民ニーズに対応する事業を行う。

□ ICT 講習会、持ち込み講座の開催支援、女性講座の開催支援

2 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供と内容の充実

（1）乳幼児期から高齢期までの各ライフステージに応じて、求められる知識や技能を適切に提供することができるよう内容の充実を図り、創造的で活力のある活動の展開に努める

□ 姉妹都市交流事業

□ こおりキッズスクール、こおり友遊くらぶ、かやのき学園

□ 世代間交流事業，若者の活動の場の創出

3 社会教育団体の活動奨励

（1）家庭、学校、地域及び社会教育団体との連携を図るとともに、自主的学習を推進するサークル等の活動を奨励・支援する

□ 桑折町青少年育成町民会議事業の実施

□ 親子教室の開催支援

4 青少年体験活動の積極的推進

（1）地域の教育力の活用を図り、青少年の体験活動・ボランティア活動を積極的に推進する

□ 体験活動・ボランティア活動支援センター事業の充実

□ 学校支援地域本部事業の充実

□ こおり地域クラブの充実

（2）町の将来を担う青少年に、健全成長と郷土愛をはぐくむために通過儀礼として以下の事業を実施する。

□ 中学２年生を対象に、将来への志を高める「立志式」

□ 成人を祝い、大人としての自覚を促す「成人式」

5　心を豊かにする読書活動の充実

（1）遊学館「よも～よ」の読書環境・学習環境の充実を図り、親しまれる運営に努める

□　桑折町読書活動推進計画に基づく学校図書室との連携、図書ネットワークの推進

（2）町民への図書の紹介や幼稚園、小・中学校との連携を図り、図書の有効活用・読書活動の充実に努める。

□　ブックスタート事業の実施

□　ファミリー文庫おはなしの会の実施

6　芸術・文化団体活動の奨励・支援

（1）町民の自主的な芸術文化活動を奨励・支援するとともに、活動成果発表や鑑賞機会としての総合文化祭の充実に努める

□　文化講演会の開催

□　高齢者作品展の実施

□　文化団体連絡協議会活動支援

7　社会教育施設の効率的・効果的な管理運営に努める。

□　地域に根ざした地区公民館運営管理体制づくり

□　各施設の利用環境の向上，効果的利活用と安全維持管理

Ⅱ　健康づくりをめざす社会体育・生涯スポーツの振興

1　社会体育事業の推進

（1）身近な体育・スポーツ活動を通して、生涯にわたって健康の保持増進と生きがいづくりに努める

□　各種スポーツ大会の開催や健康づくり教室等の実施

（2）総合型地域スポーツクラブや体育協会の自主的活動を奨励するとともに、各種事業での連携を深め、生涯スポーツの振興に努める。

□　町民体育祭及び各種スポーツ大会の開催と加盟団体主催大会の支援

□　スポーツ関係団体間の連携強化による活性化の支援

2　社会体育施設の効率的・効果的な管理運営に努める

（1）「イコーゼ！」（屋内温水プール・多目的スタジオ）の安定的かつ効率的な利活用に努める

□　水泳授業の実施，桑折町小学校水泳大会の開催

□　各種水泳教室の実施

□　夏季休業中におけるPTAとの連携したプール開放の実施

□　屋内遊び場の活用コンテンツの提供

（2）社会体育施設及び周辺施設の、整備・安全維持管理に努める

□　体育施設群活用促進のための充実策の検討

□　各施設の利用環境の向上，効果的利活用と安全維持管理

Ⅲ　文化財の保護活用

○　「桑折町歴史的風致維持向上計画」に基づく歴史資源を活かしたまちづくりの推進を図る。
○　桑折西山城跡整備の推進を図る。
○　文化財やその他の歴史文化遺産、民俗芸能の調査、保存、継承に努める。

1　「桑折町歴史的風致維持向上計画」に基づく文化財の保護・調査・活用の推進

（1）　「桑折町歴史的風致維持向上計画」に基づき、文化財や歴史的遺産の保存と活用を図るとともに、歴史的風致の概念に合致しない歴史的文化遺産、民俗芸能については同計画と連携しながら調査保存・継承に取り組む

（2）文化財や補修の必要な文化財の復旧に努めるとともに、文化財の調査成果の公表と未指定文化財の指定と保存を図り、文化財保護精神の継承と郷土の歴史的文化継承の普及啓発に努める

2　史跡西山城跡保存整備事業の推進

（1）　「史跡桑折西山城整備基本計画」「桑折町歴史的風致維持向上計画」に基づき、史跡及びその周辺の整備事業を推進するとともに、適切な保存管理及び公開に努める

3　旧伊達郡役所・種徳美術館の適切な管理と活用の推進

（1）　旧伊達郡役所の適切な保存管理と建物の公開・活用に努める

（2）　種徳美術館の適切な管理と所蔵品の公開に努める

3　学校教育

（1）　保育所・幼稚園・小学校・中学校一覧

［平成30年 5月1日現在］

◆　保育所

種別	園名等	郵便番号	所在地	電話番号	FAX番号	こども園長	所長	学級数	園児数
	醸芳保育所	969-1613	桑島三 11- 21	582-3229	582-3229	三村 孝子	片平真由美	6	99

◆　幼稚園

種別	園名	郵便番号	所在地	電話番号	FAX番号	こども園長兼園長	副園長	学級数	園児
	醸芳幼稚園	969-1613	桑島三 11- 24	582-3014	582-3024	三村 孝子	齋藤小百合	10	232

◆　小・中学校

種別	校名等	郵便番号	所在地	電話番号	FAX番号	校長	教頭	学級数	児童生徒数
小学校・中学校	醸芳小学校	969-1613	桑島三 2-8	582-2014	582-2021	木村 政文	羽染 聡	14	285
	睦合小学校	969-1652	成田字堰上46-3	582-2469	582-2489	大槻 誠	佐藤 孝浩	6	73
	半田醸芳小学校	969-1641	南半田字上田町5	582-3106	582-3799	宍戸 広子	旗野 宣久	6	106
	伊達崎小学校	969-1662	下郡字細町1	582-5870	582-6830	半澤 正保	岩澤 保徳	6	76
	醸芳中学校	969-1661	上郡字柳下5	582-3162	582-3157	大木 修	須賀 智	14	297

◆　平成３０年度　幼小中学校現職教育主題一覧

園・校名	研究教科等	現職教育主題
醸芳幼稚園	特別支援	「特別な支援を必要とする幼児一人一人の教育的ニーズに応じた計画的、組織的な支援のあり方について」 ～ 持っている力を伸ばしたり発揮したりできる幼児の育成 ～
醸芳小学校	全教科	主体的・対話的に深く学ぶ児童の育成 ～学習意欲を高め、思考力・判断力・表現力を高めるための指導の工夫～
睦合小学校	全教科	ともに考え、自らの学びを深める児童の育成
半田醸芳小学校	全教科	自ら学び、自ら考える児童の育成 ～他者との協働を通じて、自らの考えを広げ深める授業の実践～
伊達崎小学校	算数	自ら考え、学ぶ喜びにみちた児童の育成 ～ 思考・表現から活用へ ～
醸芳中学校	全教科	自分の考えを持ち、表現できる生徒の育成 ～生徒の意欲を引き出す「○○したくなる授業」実践を通して～

（2） 保育所・幼稚園・小学校・中学校沿革

平成３０年３月末現在

【 醸芳保育所 】

・昭和２６年　４月　経済の進展に伴う共稼ぎの増加、或いは母親の病気など乳幼児保育の必要性を重視し、町は県知事の許可を得て昭和２６年４月１日保育園を開設した
・昭和３６年１２月　保育室サンルーム　５坪増築（１６．５㎡）
・昭和５０年　４月　保育室改造１０㎡（北西保育室）　テラス（１６．５２㎡）
・昭和５３年　４月　保育室改造（南側２保育室）
・昭和５５年　８月　新園舎改築工事着工
・昭和５６年　１月　近代的な保育室が完成　定員１２０名
・平成１２年　２月　大規模修繕工事完成（乳児室の整備）
・平成１２年　４月　乳児保育開始　地域子育て支援センター開設
・平成２０年　４月　町内の幼稚園・保育所を一体的に運営することとなり『桑折町こども園』の中に位置付けられる。
・平成２３年　７月　所庭表土除去及び所舎の除染
・平成２４年　２月　リアルタイムモニタリングポスト設置工事
・平成２４年　５月　遊具除染及び施設周り除染
・平成２５年　６月　緊急メールシステム導入

【 醸芳幼稚園 】

・明治４２年　４月　字桑島に桑折幼稚園開設（県下第２番目）園児２７人
・昭和２２年　４月　醸芳幼稚園と改称
・昭和５５年　１月　独立の現園舎完成 移転
・平成　６年　４月　２年保育開始
・平成１０年　４月　預かり保育開始
・平成１４年　４月　３年保育開始６学級になる。醸芳小より分離し、独立園となる。
・平成１８年　４月　専任園長配置
・平成２０年　４月　町内の幼稚園・保育所を一体的に運営することとなり『桑折町こども園』の中に位置付けられる。
・平成２２年１０月　太陽光発電設置工事
・平成２３年　７月　放射線量低減化のため園庭の表土除去、園舎の除染
・平成２３年　８月　各保育室・預かり室クーラー設置
・平成２４年　２月　リアルタイムモニタリングポスト設置工事
・平成２４年　５月　遊具除染及び園舎周り除染
・平成２５年　４月　緊急メールシステム導入
・平成２６年　６月　築山、鉄棒・ジャングルジム・雲梯塗装、滑り台鉄筋修繕完了
・平成２７年　９月　西側（年中・預かり保育室脇）フェンス設置
・平成２９年　３月　醸芳幼稚園増築園舎落成、複合遊具新設、鉄棒更新
・平成２９年　４月　町内４幼稚園（醸芳、睦合、半田醸芳、伊達崎）を統合した新生「醸芳幼稚園」開園
・平成２９年１１月　園舎改修工事（園長室、保健室、渡り廊下新設、職員室改修、）
（固定遊具更新[ブランコ・ジャングルジム・雲梯]）

【 醸芳小学校 】

・明治　６年　９月　字堰上に「公立桑折小学校」創立（木造４５坪）
・明治　９年　６月　明治天皇東北巡幸時本校に御小休　木戸孝允「醸芳」揮毫
・明治１９年　４月　西町に新校舎落成
・明治４４年１２月　字桑島の現在地に校舎新築（木造８２９坪）
・昭和　５年　４月　家政女学校併置（昭和１５年実科高等女学校となる）
・昭和２２年　４月　桑折町立醸芳小学校と改称、醸芳中学校併置
・昭和２８年１１月　創立８０周年記念式 現校歌制定
・昭和３３年　７月　プール建設落成（１０ｍ×２５ｍ）
・昭和３５年　４月　児童数ピーク８３３人
・昭和３８年　９月　創立９０周年記念式 県造形教育研究会開催
・昭和４０年　４月　体育館落成（鉄骨８０９㎡）
・昭和４３年　１月　センター制完全給食実施　校舎建築始まる
・昭和４５年　１月　現在の校舎完成（鉄筋３，２３９㎡）
・昭和４８年１０月　創立１００周年記念式典挙行（はやぶさ像建立）
・昭和５４年１０月　優良ＰＴＡとして文部大臣表彰
・昭和５５年１１月　東北造形教育研究大会開催　学研教育賞受賞
・昭和５９年１１月　東北理科研究大会開催
・昭和６２年１０月　県体育研究公開　東京端光小との交流始まる（４月）

・昭和６３年１２月　県学校体育優良校受賞　全国交通安全優良校受賞
・平成　２年１１月　県指定国際交流推進研究校公開　中庭造園
・平成　７年１０月　福島国体（ソフト）開始式に５・６年生参加　スポ少サッカー全国大会出場
・平成　８年１１月　校舎大規模改造第１年次完成（普通教室棟）
・平成　９年１１月　校舎大規模改造第２年次完成（特別教室・管理棟）県小教研社会科研究公開
・平成１０年　２月　コンピューター２１台導入
・平成１２年１０月　醸芳っ子フェスティバル開始　　学校評議員導入
・平成１３年　４月　校地内ビオトープ造成　　学校支援ボランティア活動開始
・平成１４年　４月　ボランティア普及協力校　コンピューター２１台新調　地域交流センター完成
・平成１５年１０月　県小教研音楽科研究公開　校庭造成
・平成１６年　２月　福島夢実現プラン学力向上事業研究公開　航空写真撮影　防球ネット工事
・平成１７年　４月　学力向上拠点事業（17～19年度文部科学省指定）情緒障害学級設置
　安全ネットワーク会議設立
・平成２１年　４月　プール循環ろ過装置設置　校内インターホン設置
・平成２２年　２月　各学年教室に電子黒板付テレビ設置
・平成２３年　３月　東日本大震災発生（11日）以降臨時休業　地域交流センター避難所
・平成２３年6月～7月　放射線量低減化のため校庭の表土除去
・平成２３年　８月　教室環境改善のためのエアコンの設置
・平成２４年5月～8月　花壇，栽培園の表土除去　プール，校舎内（ベランダ，バルコニー等），体育館周り，遊具等の除染
・平成２５年５月～　「学力向上地域連携事業」推進協力校
・平成２５年１０月　太陽光発電装置設置・蓄電装置設置
・平成２６～２８年度　学力向上のための「つなぐ教育」推進事業協力校
・平成２６年　６月　校舎、ベランダの手すり等の塗装完了
・平成２７年　８月　登り棒設置、体育館玄関引き戸交換
・平成２８年　８月　体育館北側汚染土撤去及び駐車場整備
・平成２９年　４月　かやの実（知的）学級設置
　「学びのスタンダード」推進事業パイロット校指定

【 睦合小学校 】
・明治　７年　８月　慈雲寺に成田，松原村組合立成田小学校開設
・明治　７年　９月　観音寺に万正寺・平沢村組合立万正寺小学校開設
・昭和１４年１１月　字堰上の現在地に新校舎完成
・昭和１５年　４月　児童数ピーク４６６人
・昭和１６年　４月　睦合村立国民学校と称す
・昭和３０年　１月　桑折町立睦合小学校と改称
・昭和３５年　３月　体育館の改築
・昭和３９年　８月　プール建設落成
・昭和４９年　９月　創立１００周年、校旗、校章、校歌制定
・昭和５８年　２月　現在の校舎完成（１，８２５㎡）
・昭和５９年１１月　町教育委員会指定国語科学習指導法研究公開
・昭和６３年１１月　町教育委員会指定特別活動（集会活動）研究公開
・平成　３年　１月　「勉学の誉れ」基本・表彰規程設立
・平成　４年１１月　小規模学校教育研究協議会会場校となる　学校田で収穫した米で収穫祭
・平成　６年　８月　創立１２０周年式典挙行
・平成　６年　９月　校舎裏山に遊歩道設置（ＰＴＡ奉仕作業）
・平成　７年　２月　体育館改築（８１５㎡）
・平成　７年　９月　簡易駐車場完成（プール西側）
・平成　８年　１月　県書写書道研究会伊達（桑折）大会研究公開
・平成　９年　７月　校庭西根堰側防球ネット完成　睦合見守隊発足
・平成１２年　３月　コンピューター１２台導入
・平成１２年１１月　ソニー教育論文優良賞受賞
・平成１５年１０月　県連ＰＴＡ連合会長表彰
・平成１７年～１９年　学力パートナーシップ事業研究指定校
・平成１８年～２０年　うつくしま田んぼの学校事業指定校
・平成２２年　２月　ふくしま議定書　優秀校　表彰
・平成２２年　２月　各学年教室に電子黒板付テレビ設置
・平成２３年　３月　東日本大震災発生（11日）以降臨時休業
・平成２３年6月～7月　放射線量低減化のため校庭の表土除去

・平成２３年　８月　　教室環境改善のためのエアコンの設置
・平成２４年5月～7月　花壇・ 校舎裏表土除去、プール、校舎内（ベランダ、バルコニー等)、体育館周り、遊具等の除染
・平成２５年５月～　「学力向上地域連携事業」推進協力校
・平成２６～２８年度　学力向上のための「つなぐ教育」推進事業協力校
・平成２６年　５月　　創立１４０周年・現校歌制定４０周年記念（運動会）
・平成２７年　３月　　災害対応蓄電装置設置
・平成２７年　５月　　校内放送設備更新
・平成２８年　８月　　校庭南側汚染土撤去
・平成２９年　２月　　体力向上優秀校表彰

【 半田醸芳小学校 】
・明治　６年　４月　　泉田泉秀寺に９村連合小学校を開設
・明治２２年　４月　　谷地，北半田，南半田の３村合併，北半田小学校へ
・昭和２２年　４月　　六・三制施行により，半田村立半田小学校と改称
　　校歌制定（古積泰治作詞，佐藤広市作曲）
・昭和２５年　４月　　児童数ピーク　７２１人
・昭和３０年　１月　　桑折町立半田醸芳小学校と改称
・昭和４８年　７月　　創立１００周年記念式典挙行
・昭和４９年１１月　　学校給食優良校として文部大臣より表彰を受ける
・昭和５１年１０月　　交通安全優良校として県より表彰を受ける
・昭和６３年　１月　　新校舎建築のため講堂，プール跡地に校地を造成する
・昭和６３年　６月　　よい歯の学校優良校として県歯科医師会の表彰を受ける
・昭和６３年　８月　　学校安全優良校として学校健康センターの表彰を受ける
・平成　１年　３月　　現在の校舎完成（３，３０１㎡）（体育館９７２㎡）
・平成　２年　５月　　新校舎落成式（プール完成３月）
・平成　２年　９月　　校舎周辺舗装，教材園，花壇，南側植栽完成
　　交通安全優良校として東北管区警察局より表彰を受ける
・平成　３年　６月　　飼育舎完成
・平成　４年　６月　　校庭遊具整備
・平成　８年　５月　　マーチングバンド用ユニフォーム購入
・平成　８年　６月　　よい歯の学校優良校として県歯科医師会の表彰を受ける
・平成１０年　４月　　緑の少年団結成
・平成１１年　３月　　コンピューター２１台導入
・平成１１年１１月　　花いっぱいコンクールで最高賞（県知事賞）を受賞
・平成１２年　９月　　半田山に学校林設置
・平成１５年　５月　　「創立１３０周年記念　大運動会」開催
・平成１８年　１月　　子ども見守り隊発足
・平成２２年　２月　　各学年教室に電子黒板付テレビ設置
・平成２２年１０月　　体育館屋根修理
・平成２３年　３月　　東日本大震災発生（11日）以降臨時休業　体育館避難所
・平成２３年　３月　　太陽光発電装置設置
・平成２３年6月～7月　放射線量低減化のため校庭の表土除去
・平成２３年　８月　　教室環境改善のためのエアコンの設置
・平成２４年5月～8月　花壇，栽培園の表土除去　プール，校舎内（ベランダ，バルコニー等)，体育館周り，遊具等の除染
・平成２５年　４月　　校庭遊具塗装
・平成２６年　５月　　低鉄棒設置
・平成２５年５月～　「学力向上地域連携事業」推進協力校
・平成２６～２８年度　学力向上のための「つなぐ教育」推進事業協力校
・平成２７年　３月　　災害対応蓄電池室設置
・平成２８年８月～9月　校庭汚染土校外撤去並びに校庭周辺フェンス設置
・平成２９年１１月　　ふくしんこども応援賞　最優秀賞受賞

【 伊達崎小学校 】
・明治　５年１０月　　大林寺に小学校開設
・明治　６年　９月　　宮内に校舎新築移転
・明治２６年　６月　　伊達崎尋常小学校と改称
・昭和　３年　５月　　現在地に新校舎落成

・昭和１５年　４月　　児童数ピーク６２６人
・昭和１６年　４月　　国民学校令公布　伊達崎村立国民学校と改称
・昭和３０年　１月　　桑折町立伊達崎小学校と改称
・昭和３９年　６月　　プール完成
・昭和４０年１０月　　県教委指定体育学習指導研究公開
・昭和４７年１０月　　創立１００周年記念式典挙行
・昭和５１年　８月　　現在の校舎完成（２，１７５㎡）
・昭和５２年　１月　　校内放送機器設置，校内カラーテレビ放送開始
・昭和５３年　１月　　屋内体育館完成（６７０㎡）
・昭和６１年　３月　　フィールドアスレチック施設設置
・平成　４年１０月　　統計教育文部大臣賞受賞
・平成　５年　４月　　校庭南側歩道及びフェンス設置
・平成　８年　３月　　校庭南側に桜苗木植栽・新型焼却炉設置
・平成　９年　２月　　マーチング・キーボード、ユニフォーム購入
・平成　９年　３月　　保健室・職員室にブラインド設置
・平成１１年　４月　　学校指導協力員制度始まる
・平成１２年　４月　　学校評議員制発足
・平成１３年　３月　　コンピューター１３台導入
・平成１３年　５月　　ビオトープ「どろんこパラダイス」完成　インターネット接続開始
・平成１４年　９月　　体験果樹園「桃の楽園」開園
・平成１４年１０月　　「創立１３０周年記念　学習発表会」開催
・平成１５年１０月　　創立１３０周年記念学習発表会
・平成１５年１２月　　地域イントラネット事業により公共施設との接続開始
・平成１７年　３月　　校庭東側道路拡張
・平成１７年　７月　　ウサギ小屋完成　プール送水管修理
・平成１７年１１月　　校庭東側に植樹
・平成２０年　７月　　校舎耐震・大規模改修工事
　～２１年１２月
・平成２２年　２月　　各学年教室に電子黒板付テレビ設置
・平成２２年　６月　　校庭全面芝生化（うつくしまグリーンプロジェクト）
・平成２３年　３月　　東日本大震災発生（11日）以降臨時休業　体育館避難所
・平成２３年　６月　　放射線量低減化のため校庭の表土除去
・平成２３年　８月　　教室環境改善のためのエアコンの設置
・平成２４年5月～6月　　花壇，栽培園の表土除去　プール、校舎内（ベランダ等）、体育館周り、遊具等の除染
・平成２５年５月～　　「学力向上地域連携事業」推進協力校
・平成２５年１０月　　太陽光発電装置設置・蓄電装置設置
・平成２６～２８年度　　学力向上のための「つなぐ教育」推進事業協力校
・平成２６年１０月　　校庭防球ネット設置
・平成２７年　６月　　校庭全面芝生化
・平成２８年　８月　　駐車場汚染土撤去及び整備

【 醸芳中学校 】
・昭和２２年　４月　　桑折、睦合、半田、伊達崎に各新制中学校創立
・昭和２８年　７月　　字道下に新校舎、体育館落成
・昭和２９年１２月　　桑折、半田を統合 桑折町・半田村組合立醸芳中学校となる
・昭和３０年　８月　　校旗、校歌を制定
・昭和３４年１０月　　３３・３４年度文部省指定産業教育（職業家庭）研究発表
・昭和３５年１１月　　創立１０周年記念式典挙行
・昭和３６年　４月　　睦合、伊達崎を統合・校舎増築、桑折町立醸芳中学校となる
・昭和３７年１１月　　優良ＰＴＡとして県教育委員会表彰
・昭和３８年　８月　　プール完成（２５ｍ×１５ｍ，８コース）
・昭和４０年　４月　　統合後の生徒数ピーク　１，１４０人，特殊学級を開設
・昭和４２年１０月　　創立２０周年記念式典挙行
・昭和４３年　１月　　完全給食開始
・昭和５１年　５月　　機械警備ガードマン制導入
・昭和５２年１１月　　ＴＢＣこども音楽コンクール東北大会吹奏楽最優秀賞
・昭和５４年　３月　　アンサンブル全国大会金賞（金管四重奏）
・昭和５７年１１月　　５６・５７年度文部省指定生徒指導研究発表
・昭和５８年　７月　　県中学校総合体育大会バスケットボール優勝（男子）

・平成　２年　８月　　３年教室および廊下の腰板修理
・平成　３年　７月　　新校舎建築着工（現在地）
・平成　３年１１月　　東北放送子ども音楽コンクール東北大会　優秀校
・平成　４年　６月　　新校舎体育館建築着工
・平成　５年　２月　　新校舎・体育館完成（校舎６，５８７㎡）（体育館１，７５２㎡　柔剣道場５６１㎡）
・平成　５年　２月　　現在地字柳下に校舎移転改築
・平成　５年　４月　　コンピューター設置
・平成　５年１２月　　校舎落成式（プール、テニスコート完成）
・平成　６年１１月　　陶芸室完成
・平成　７年　３月　　校舎、プール周辺の舗装完成
・平成　８年　１月　　平成６・７年度県教委指定書写指導研究発表
・平成　９年　５月　　創立５０周年記念植樹・記念碑建立（同窓会）
・平成１０年１０月　　平成９・１０年度文部省指定人権教育公開研究会
・平成１０年１２月　　コンピューター４２台導入
・平成１１年　４月　　新制服制定（新入生よりエコ製品採用）・インターネット回線接続
・平成１１年１０月　　ＰＴＡ基金事業除幕式
　　・オルゴール放送設備の設置　・生活活動記録掲示板の設置
　　・校歌歌碑移転
・平成１３年　３月　　屋外大時計設置
・平成１３年　８月　　東北中学校ソフトテニス大会　第３位
・平成１３年　８月　　全日本中学校ソフトテニス大会出場　２回戦進出
・平成１４年　４月　　新教育目標設定・インターネット光ファイバー回線接続
・平成１５年　８月　　野球グランド内野全面改修
・平成１８年１０月　　中学校教育研究会県大会特別活動部会
・平成２０年１０月　　東北放送こども音楽コンクール東北大会管楽合奏優秀賞
・平成２１年１０月　　東北放送こども音楽コンクール東北大会最優秀賞サックス五重奏
・平成２２年　２月　　各学年教室に電子黒板付テレビ設置
・平成２３年　３月　　東日本大震災発生（11日）以降臨時休業
・平成２３年　３月　　太陽光発電装置設置
・平成２３年　６月　　放射線量低減化のため校庭の表土除去
・平成２３年　８月　　教室環境改善のためのエアコンの設置
・平成２４年６月~7月　　グランド斜面、プール、校舎内（ベランダ、バルコニー等）、玄関前、体育館・テニスコート周り等の除染
・平成２５年　５月～　　「学力向上地域連携事業」推進拠点校
・平成２５年１１月　　平成２５年度放射線教育推進支援事業実践協力校として授業公開
・平成２６～２８年度　　学力向上のための「つなぐ教育」推進事業拠点校
・平成２７年　３月　　災害対応蓄電装置設置
・平成２９年　１月　　テニスコート人工芝全面張替

（3） 歴代校長名簿

醸 芳 小

1) 梅津 清平 M6～
2) 黒井小源太 M9～
3) 堀 退蔵 M10～
4) 保山 清 M11～
5) 堀 退蔵 M12～
6) 永井 道忠 M14～
7) 阿部徳次郎 M15～
8) 佐川 重善 M16～
9) 若山 直章 M18～
10) 佐川 重善 M19～
11) 斎藤 重太 M19～
12) 門馬 貞蔵 M20～
13) 加藤 隆瑞 M21～
14) 常見 甫 M27～
15) 加藤 隆瑞 M31～
16) 天野 景明 M31～
17) 山崎 朋之 M33～
18) 武川 教義 M36～
19) 加藤友之助 M39～
20) 松井 秀英 M40～
21) 今野甚三郎 T 2～
22) 岡山幸太郎 T 6～
23) 大木喜代雄 T11～
24) 船木善四郎 T12～
25) 仲村辰四郎 T15～
26) 前川 三省 S 5～
27) 草野 佳政 S 7～
28) 菅野 圓蔵 S 9～
29) 三浦 寛一 S16～
30) 紺野長四郎 S18～
31) 佐藤庄左衛門 S19～
32) 遠藤 經 S21～
33) 武藤 昌 S30～
34) 佐久間武善 S36～
35) 五十嵐秀夫 S41～
36) 原田 貞 S50～
37) 古山 直一 S53～
38) 目黒 衛 S56～
39) 佐藤 弘 S59～
40) 松田 源治 S60～
41) 鴨田 喜夫 H 1～
42) 永井 俊博 H 3～
43) 大竹 英智 H 5～
44) 佐藤 榮壽 H 7～
45) 矢葺 光政 H10～
46) 石岡 恒憲 H13～
47) 古宮 睦男 H17～
48) 村上 幸男 H20～
49) 高橋 徹 H23.8～
50) 会田 智康 H25～
51) 伊藤 好幸 H27～
52) 木村 政文 H29～

伊達崎小

1) 宍戸 遵 M5～
2) 西山 正躬 M6～
3) 渥美 榮蔵 M11～
4) 本多 定積 M12～
5) 小澤正太郎 M13～
6) 大鷹三之助 M13～
7) 堀 捨次郎 M14～
8) 室原 啓三 M15～
9) 末永 敬明 M17～
10) 柚原 勉 M18～
11) 永井延次郎 M20～
12) 猪城徳二郎 M21～
13) 石上三郎平 M22～
14) 長澤清太郎 M27～
15) 加藤 丈吉 M29～
16) 瀬谷市太郎 M34～
17) 木幡 次郎 M40～
18) 一條 七蔵 M42～
19) 野地 榮 T 3～
20) 仲村辰四郎 T 9～
21) 黒澤 眞明 T11～
22) 高玉 良助 T13～
23) 菅野 勝美 T15～
24) 三浦 寛一 S 8～
25) 近藤 景助 S14～
26) 塩田 柘雄 S18～
27) 安部 丑亥 S21～
28) 鈴木 正孝 S22～
29) 鈴木 正一 S24～
30) 古川松太郎 S30～
31) 内池 謙三 S36～
32) 黒羽 健三 S40～
33) 安斎 武 S43～
34) 菅野 甫 S46～
35) 鈴木 保男 S51～
36) 八島 完 S57～
37) 長根 智 S62～
38) 大竹 英智 H 2～
39) 戸井田 健 H 5～
40) 松浦 常雄 H 7～
41) 小澤 富雄 H 9～
42) 角田 俊雄 H13～
43) 菱沼 一良 H17～
44) 高橋 徹 H20～
45) 丹治 睦雄 H23.8～
46) 坂本 貴洋 H25～
47) 宮内 憲司 H28～
48) 半澤 正保 H30～

半田醸芳小

〈一部不詳〉

1) 大波 廣吉 M22～
2) 佐久間兼蔵 M24～
3) 菅野 忠夫 M29～
4) 志賀 敏 M34～
5) 愛澤辰次郎 M36～
6) 藤本 春児 M38～
7) 三木常次郎 M42～
8) 佐藤子之松 T 1～
9) 安藤 保蔵 T 4～
10) 宮崎喜三郎 T 6～
11) 井上鉄次郎 T 9～
12) 清信留之助 T11～
13) 斎藤 芳夫 T12～
14) 清野 一郎 S 2～
15) 金澤 武夫 S 8～
16) 小松 光治 S15～
17) 上田 盈 S16～
18) 高橋 廣記 S19～
19) 蔭山 亮心 S21～
20) 西 恭三 S27～
21) 五十嵐秀夫 S34～
22) 大谷 香 S39～
23) 古川 安之 S41～
24) 黒羽 健三 S43～
25) 泉 幸一 S47～
26) 熊坂 修一 S49～
27) 宍戸 成男 S53～
28) 大杉 光夫 S56～
29) 猪俣 好巳 S60～
30) 高山 胤能 H 1～
31) 小平 光雄 H 4～
32) 佐藤 洋一 H 7～
33) 石岡 恒憲 H 9～
34) 飯塚 哲 H11～
35) 村上 幸男 H15～
36) 佐藤 吉則 H18～
37) 山内 雄和 H21～
38) 伊藤 好幸 H24～
39) 福士 久子 H27～
40) 宍戸 広子 H29～

睦 合 小

〈一部不詳〉

1) 石田 弼常 M32～
2) 鹿山 林造 M33～
3) 佐藤 祐蔵 T10～
4) 佐藤 勘六 S 1～
5) 横山 繁治 S 4～
6) 伊達 忠 S15～
7) 上田 信蔵 S17～
8) 豊島 桂一 S22～
9) 鈴木 正恵 S26～
10) 氏家久仁夫 S34～
11) 大谷 香 S36～
12) 古川 安之 S39～
13) 山川 和二 S41～
14) 油井 悦治 S43～
15) 佐藤 弘 S49～
16) 半澤 正 S52～
17) 鈴木 子郷 S54～
18) 山本 昌行 S59～
19) 長谷川壽子 S63～
20) 熊耳 昭壽 H 3～
21) 三浦 哲夫 H 5～
22) 安倍 幸夫 H 8～
23) 中川 源美 H10～
24) 渡邉 和夫 H12～
25) 大橋 芳光 H14～
26) 我彦 武 H17～
27) 菊池 淳 H20～
28) 菅野 敦子 H22～
29) 五十嵐正彦 H25～
30) 大槻 誠 H28～

醸 芳 中

1) 高田哲太郎 S25～
2) 岩谷 唯近 S29～
3) 遠藤 力 S40～
4) 遠藤 伊雄 S46～
5) 黒羽 健三 S48～
6) 萩原 盛良 S52～
7) 黒須 撰三 S54～
8) 大友 寛 S57～
9) 須永 英次 S60～
10) 大草 榮治 H 2～
11) 紺野 明男 H 5～
12) 田中 民二 H 7～
13) 菅野金四郎 H10～
14) 武田 正昭 H15～
15) 湯田 健一 H17～
16) 鈴木喜三郎 H20～
17) 蓬田 吉穂 H25～
18) 神野 與 H27～
19) 大木 修 H29～

（４）　中学校卒業生の進路状況

平成２９年度　醸芳中学校の進路状況　　（平成３０年４月１日現在）

学科の種類	学科	県(国)立	私立
普通教育を主とする学科	普通科	４９	１３
専門教育を主とする学科	農業に関する学科	6	
	工業に関する学科	１２	１５
	商業に関する学科	6	
	家庭(食物・福祉)に関する学科		
	看護に関する学科		
	情報に関する学科	1	
	理数に関する学科		
	美術に関する学科	2	
	外国語に関する学科		
	国際文化に関する学科		
	文理に関する学科		
	スポーツに関する学科	1	
総合的に施す学科	総合学科	8	
計		８５	２８
合計			１１３

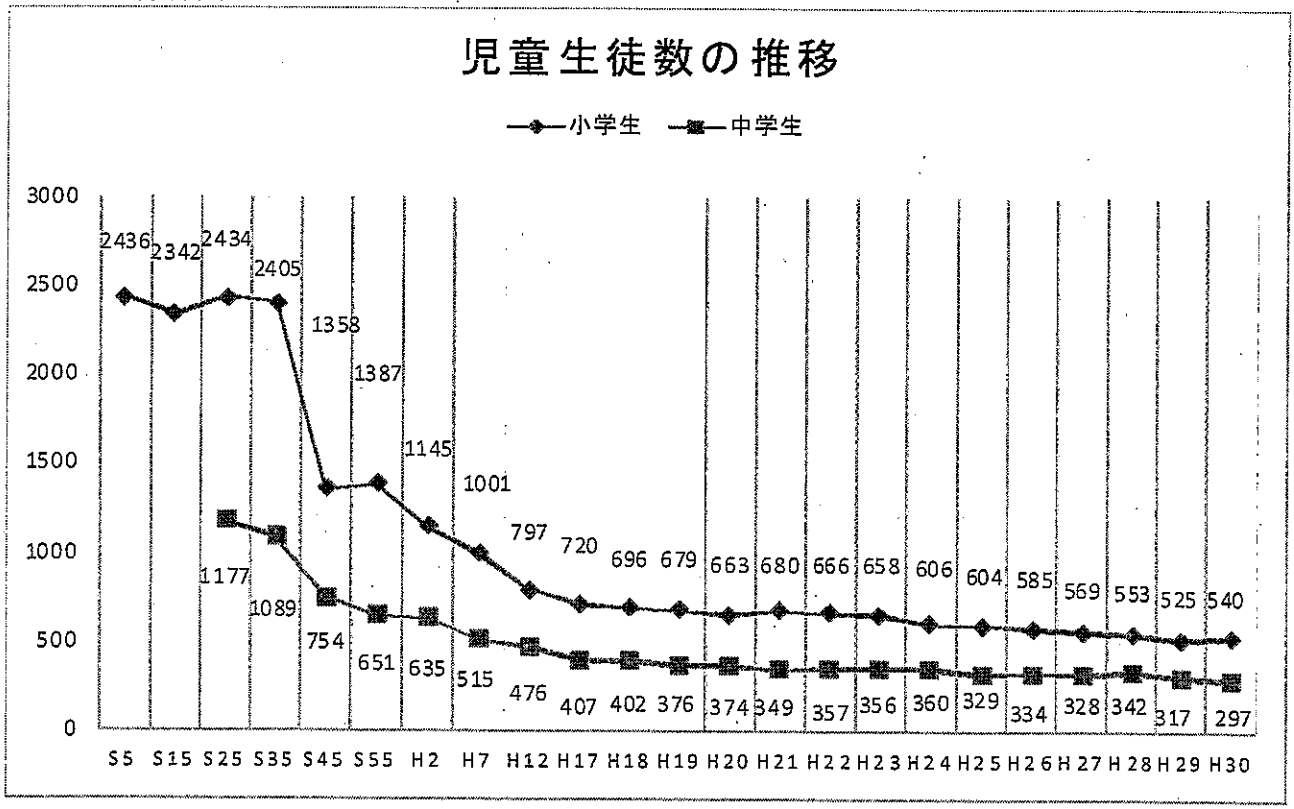
〈 参考資料 〉

課程	県立高校				私立高校		国立	就職	その他	合計
	全日制	定時制	通信制	特別支援	全日制	通信制				
男	４４	1			１７	2				６４
女	３９				7	2	1			４９
計	８３	1			２４	4	1			１１３

（５）　平成３０年度児童・生徒数　　（平成３０年５月１日現在）

	小学１年	小学２年	小学３年	小学４年	小学５年	小学６年	中学１年	中学２年	中学３年
男子	５２	３９	３７	４５	５１	４６	４８	４５	５２
女子	４２	３２	４５	４８	５１	５２	４５	５０	５７
計	９４	７１	８２	９３	１０２	９８	９３	９５	１０９

〈 参考資料 〉



（６）　児童生徒の体位

児童生徒の体位［平均値］（平成３０年５月）

※ 全国平均…H29年度

年　齢	区　分	身長（ｃｍ）		体重（ｋｇ）	
		男子	女子	男子	女子
6歳（小１）	桑折町	117.0	115.2	21.8	21.1
	全　国	116.5	115.7	21.4	21.0
7歳（小２）	桑折町	122.9	120.3	25.2	23.4
	全　国	122.5	121.5	24.1	23.5
8歳（小３）	桑折町	128.4	127.7	28.3	26.4
	全　国	128.2	127.3	27.2	26.4
9歳（小４）	桑折町	134.0	132.0	31.7	29.8
	全　国	133.5	133.4	30.5	29.9
10歳（小５）	桑折町	140.8	139.6	37.2	34.7
	全　国	139.0	140.1	34.2	34.0
11歳（小６）	桑折町	145.1	145.4	38.7	38.2
	全　国	145.0	146.7	38.2	39.0
12歳（中１）	桑折町	153.2	152.5	44.8	46.3
	全　国	152.8	151.8	44.0	43.6
13歳（中２）	桑折町	160.5	153.7	50.2	49.1
	全　国	160.0	154.9	49.0	47.2
14歳（中３）	桑折町	166.5	156.8	54.2	51.8
	全　国	165.3	156.5	53.9	50.0

児童・生徒の身長・体重の推移（過去５年間）

○身長

男　子

（単位：ｃｍ）

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
小学校	１年	117.2	116.6	117.0	116.9	116.7
	２年	123.1	123.3	122.4	122.9	122.9
	３年	128.2	128.7	128.7	128.6	128.5
	４年	134.4	133.3	133.7	133.9	133.9
	５年	139.5	140.2	139.1	140.1	139.4
	６年	145.0	145.8	146.9	146.5	146.2
中学校	１年	155.1	153.3	154.1	153.8	153.6
	２年	158.5	162.3	160.2	161.0	161.1
	３年	165.1	164.4	167.5	165.6	165.3

女　子

（単位：ｃｍ）

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
小学校	１年	115.3	116.2	114.9	114.9	115.1
	２年	123.8	121.2	122.0	121.1	121.5
	３年	127.3	129.4	127.0	128.2	126.6
	４年	134.0	132.8	135.0	133.0	134.6
	５年	140.1	140.9	140.0	141.6	140.4
	６年	146.5	146.8	146.1	146.0	148.2
中学校	１年	152.9	152.0	152.6	152.4	150.9
	２年	154.5	155.1	154.9	155.7	155.3
	３年	155.2	156.2	156.8	156.6	157.0

○体重

男　子

（単位：ｋｇ）

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
小学校	１年	21.8	22.1	21.5	22.4	21.7
	２年	25.3	24.8	24.8	24.2	25.3
	３年	28.3	28.9	27.6	28.2	27.1
	４年	32.1	31.8	32.4	31.3	31.7
	５年	36.8	36.0	35.5	36.8	35.3
	６年	40.1	41.5	39.9	39.9	40.6
中学校	１年	46.8	45.6	46.5	46.0	45.8
	２年	48.5	51.6	51.0	51.1	50.8
	３年	55.0	52.5	56.8	55.5	55.7

女　子

（単位：ｋｇ）

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
小学校	１年	21.1	22.5	20.6	20.6	20.6
	２年	26.4	23.6	24.9	23.1	23.1
	３年	28.6	30.0	26.4	28.4	26.3
	４年	32.1	32.3	33.1	30.1	31.8
	５年	36.8	35.8	36.3	38.0	34.8
	６年	40.1	41.1	40.7	40.9	42.7
中学校	１年	46.8	45.4	45.7	47.7	45.1
	２年	48.5	48.4	48.5	50.0	49.2
	３年	53.9	50.7	50.2	51.3	52.6

（7）　学校給食事業

1．学校給食の目標

（1）　適切な栄養の摂取による健康の維持増進を図ること。

（2）　日常生活における食事について、正しい理解と健全な食生活を営むことができる判断力を培い、望ましい食習慣を養うこと。

（3）　学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。

（4）　食料の生産、配分及び消費について、正しい理解に導くこと。

2．学校給食センター沿革

昭和４３年　１月　桑折町伊達町国見町三町の学校給食センター方式による小・中学校への完全給食開始

昭和５１年　４月　米飯給食を導入

平成１０年１２月　バイキング給食を導入

平成１２年　８月　桑折町学校給食センター(単町)による小中学校への給食開始
地元農産物導入

平成１３年　４月　アレルギー対応食導入

平成１３年　６月　セレクト給食導入

平成１３年１２月　テーブルマナー給食導入

平成１４年　４月　地元産米の導入

平成２３年　４月　幼稚園給食費無料化実施

平成２４年　１月　食品放射能濃度測定器設置（給食センター　１台）
学校給食及び食材等の放射性物質濃度測定開始

平成２５年　６月　食品放射能濃度測定器を桑折町役場桑島分庁舎へ移設

平成２６年　４月　学校給食の調理・配送の全部委託

3．学校給食センターの概要

●名　称　桑折町学校給食センター

●所 在 地　桑折町大字上郡字堰下４５番地

●運営組織

- 町教育委員会
  - 学校給食センター運営委員会
  - 給食センター所長
    - 栄養技師　１名
    - 調理員　１１名（委託）

●運営委員会構成　町小中学校長会　２人
こども園園長　１人
ＰＴＡ代表　２人
学識経験者　１人

4．給食状況　　（平成３０年５月現在）

区分	幼稚園	小学校	中学校	合計	摘　要
給食学校数	１園	４校	１校	６校	給食センター職員等13名含む
給食人員数	２６３人	６０６人	３２５人	１，１９４人	１，２０７人

一週間の給食の形態	パン	米飯	めん
	週１回	週３～４回	週０～１回

※ めん給食は月１～２回程度。（めん給食がある週は米飯３回、めん給食がない週は米飯４回）

5．学校給食センター施設のあらまし

①　給食センター本体

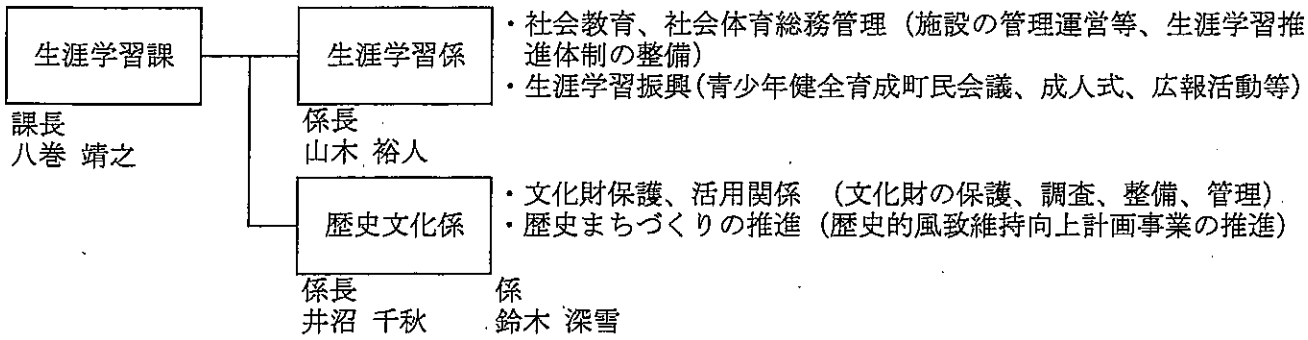
階別	面積（㎡）	内訳（㎡）			
1階	897.70	玄関･ホール	15.00	前室	34.58
		事務室	41.70	調理室	199.60
		便所	10.00	サラダ室	16.40
		検収室	31.20	洗浄室	199.40
		下処理室	35.28	厨芥処理室	8.00
		食品庫	12.63	コンテナ室	102.00
		冷凍庫	7.41	廊下	51.00
		米庫	16.00	倉庫	12.60
		炊飯室	72.00	機械室	32.90
2階	143.00	会議室	32.00	洗濯室	12.00
		男子休憩室	26.00	便所	16.00
		女子休憩室	21.50	廊下	35.50
合　計	1040.70				

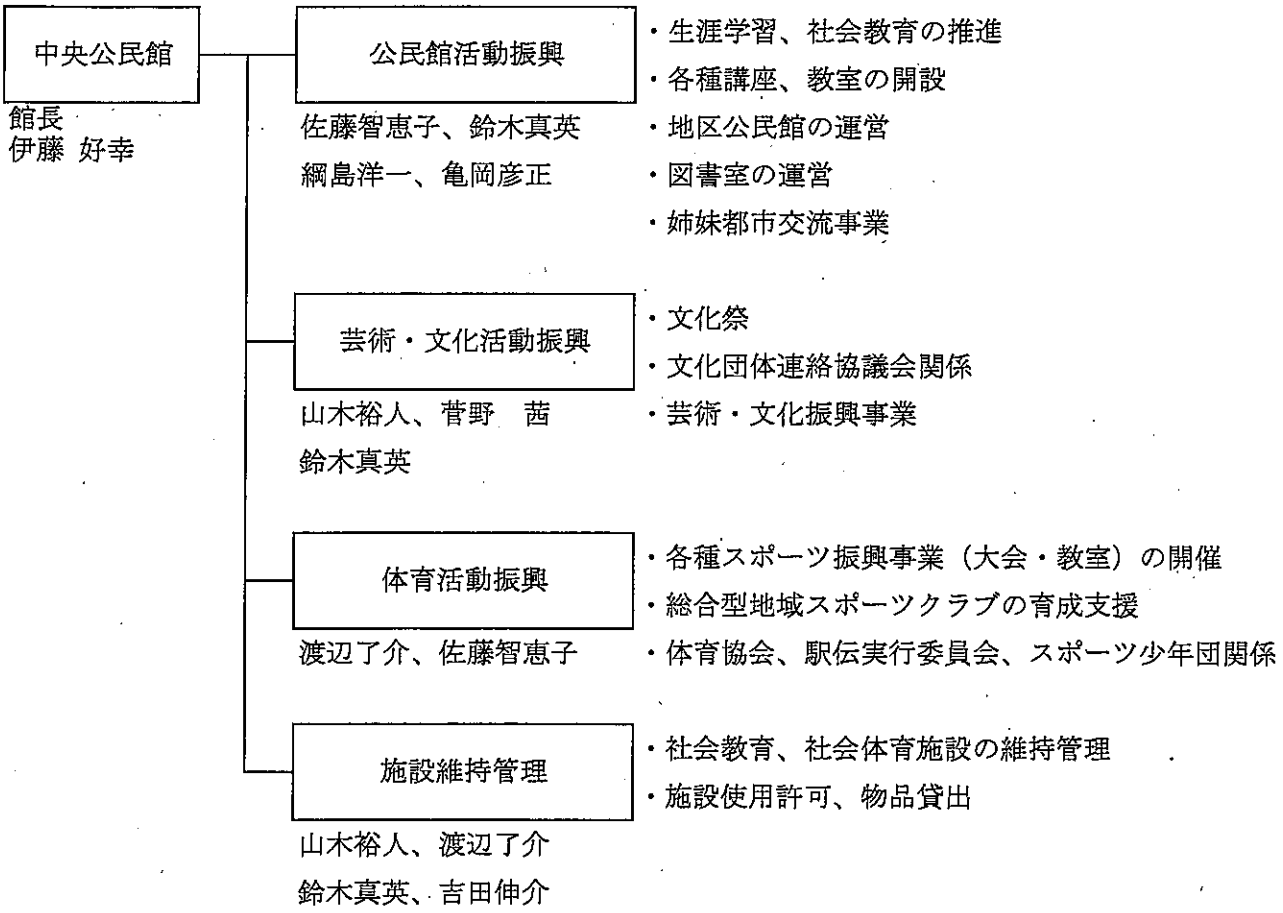
②　その他

名　称	面積（㎡）
車庫	80.00
自転車置場	4.01

4　生涯学習

(1)生涯学習課組織機構　　平成30年4月1日現在





⑵生涯学習関係審議会・機関

【桑折町文化財保護審議会】条例により昭和５１年設置

委員１０名　任期２年（平成３０年度～平成３１年度）

氏　名	役　職
吉田　良典	観音寺住職
菱沼　正人	元桑折町公民館長
石井　亮佑	元桑折町郷土史研究会長
鈴木　隆志	元桑折町史編纂専門委員
鈴木　文夫	桑折町郷土史研究会長
渋谷　浩一	桑折町商工会長
笠松　金次	歴史研究家
斉藤　純雄	元桑折町史編纂専門委員
青柳　良憲	桑折町文化財保存会長
関根　勉	桑折町歴史案内人

【桑折町社会教育委員の会議】条例により昭和３０年設置

委員１２名　任期２年（平成２９年度～平成３０年度）

氏　名	役　職
大木　修	町小中学校長会長（醸芳中学校長）
木村　政文	醸芳小学校長
蓬田　宗由	町ＰＴＡ連絡協議会長
浅野　隆良	町文化団体連絡協議会長
川名　静子	町連合婦人会長
石幡　正則	町社会福祉協議会常務理事
安藤　重男	学識経験者
工藤　信悦	「地域クラブ」協力ボランティア代表
林王　直美	ファミリー文庫「ら・みるく」代表
山木　一芳	町スポーツ協会長
岡﨑　忠一	総合型地域スポーツクラブ会長
阿部　公嗣	「夢ほたる・こおり」事務局長

【桑折町スポーツ推進委員会】条例により昭和３４年設置

委員８名　任期２年（平成２９年度～平成３０年度）

団　体　名	氏　名
桑折地区	山木　一芳
	本望　裕一
	金野　麻衣
睦合地区	浅野　利之
半田地区	渡辺　重子
	塩谷　靖夫
伊達崎地区	蓬田　勝徳
	幕田　俊一

⑶生涯学習関係団体

【桑折町青少年育成町民会議】昭和５７年発足

会　長　　髙橋　宣博（町長）

副会長　　熊本祐司、浅野　剛生、佐藤久仁夫、渡邉健児

主な事業：青少年育成町民大会、立志式、小学生意見発表会等

【桑折町スポーツ協会】昭和４２年発足

会　長　　山木　一芳

副会長　　竹中　綾子、塩谷　靖夫

加盟団体：種目団体　　１７団体

スポーツ少年団　　７団

主な事業：加盟団体の活動奨励、各種大会への選手派遣奨励、各種大会企画運営等

【桑折町スポーツ少年団】昭和４６年発足

本部長　　伊藤好幸（中央公民館長）

副本部長　　岡田和人

加盟団体：７団

主な事業：加盟団の活動奨励、各種大会への選手派遣奨励、指導者及びリーダーの養成等

【桑折町文化団体連絡協議会】昭和５０年発足

会　長　　浅野　隆良

副会長　　和田　京子、大野　俊昭

加盟団体：５０団体

主な事業：加盟団体の活動奨励、町文化祭の企画・運営

⑷主な事業

〔生涯学習関係〕

社会教育・社会体育総務管理

1　社会教育委員の会議の開催及び研修会の実施

① 桑折町社会教育委員の会議

② 伊達地方社会教育委員連絡協議会

2　生涯学習推進会議・本部会議の開催

3　社会教育指導員設置事業

① ２名の指導員を配置し、地区公民館４館の館長を兼務

4　スポーツ推進委員の会議の開催及び研修会の実施

① 桑折町スポーツ推進委員の会議

② 伊達地方スポーツ推進委員連絡協議会

5　社会教育関係団体活動支援（補助金交付）

① 桑折町ＰＴＡ連絡協議会

② 桑折スカウト育成会

③ 桑折町青少年育成町民会議地区部会

6　文化関係団体活動支援（補助金交付）

① 桑折町文化団体連絡協議会

7　スポーツ関係団体活動支援（補助金交付）

① 桑折町スポーツ協会

② 福島県縦断駅伝競走大会桑折町実行委員会

③ 総合型地域スポーツクラブ「マルベリーこおり」

生涯学習振興

1　桑折町青少年育成町民会議事業

① 青少年育成町民会議大会　　平成３０年７月１１日（水）

② 桑折町立志式・記念講演会　　平成３１年２月　８日（金）

③ 小学生意見発表会　　小学校毎に実施

④ 地区部会での取り組み促進

2　桑折町成人式　　平成３１年１月１３日（日）

① 式典

② 新成人のつどい

3　広報啓発活動

① 「生涯学習だより」毎月１回発行

② 町ホームページの更新（随時）

公民館活動振興

1　生涯学習関係各種研修会参加奨励事業

① 子ども読書活動推進研修講座

② 青少年育成活動推進等研修会

2　青少年関係

① 少年教室　こおりキッズスクール事業

対象：小学校４～６年生

時期：４月～２月の休日　全６回程度

内容：キャンプ・もちつき・カヌー体験・古代文化体験など

② 体験活動・ボランティア活動支援センター事業

・専任コーディネーター配置による活動コーディネイト

・地域サポーターによる学校授業支援

・こおり地域クラブ活動

・体験チャレンジ活動

3　家庭教育関係

① 親子教室

対象：３歳から中学生までの親子

時期：通年

内容：料理教室・ダンス体操教室・キンボール教室等

② 家庭教育支援事業

対象：こども園及び小中学校のＰＴＡ会員対象

時期：通年

内容：家庭教育に関する講演・実技

4　成人関係

① こおり友遊くらぶ

対象：一般成人

時期：４月～２月まで　年間８回程度

内容：社会教養・健康など参加者自らが学習テーマを設ける

② 花いっぱい教室

対象：一般成人

時期：４月～６月（前期）、８月～１１月（後期）

③ スマートフォン講座

対象：一般成人（シニア世代）

時期：１０月

内容：安全安心なスマートフォンの活用方法、防災対策

④ パソコン教室

対象：一般成人

時期：１１月　全４回

内容：パソコンの基本的な使い方、簡単な文書作成

⑤ みんなのゴルフ教室

対象：一般成人

時期：７月～８月　全６回

内容：ゴルフの基礎

5　高齢者関係

①「かやのき学園」

対象：概ね６５歳以上の方

時期：通年

内容：テーマ学習「生き甲斐のある学びⅢ」

全体学習　　７回

地区館学習　３回程度

クラブ活動　５クラブ

文集「あゆみ」の編集

②「高齢者作品展」

対象：６０歳以上

時期：文化祭展示会（平成３０年１１月　３日～１１月　５日）

内容：日常制作した作品を展示

6　図書関係

① 図書室運営

② 中央公民館おはなしの会

対象：乳幼児

時期：毎月第３金曜日

内容：子育て支援センター利用者を対象にしたおはなしの会、

「よも～よ」のＰＲ

③ ファミリー文庫活動への支援

・おはなしの会による読書活動

④ ブックスタート事業

対象：乳児

時期：７ヶ月健診時に実施

内容：読み聞かせの重要性、推奨絵本の紹介、絵本のプレゼント、図書室紹介等

⑤ 夏休み自主学習室の設置

・よも～よ、各地区公民館の部屋を学習室として開放

国際交流推進

１　姉妹都市交流事業

① 米国ケンタッキー州エリザベスタウン市からの訪問団受入（中止）

時　　期：平成３０年７月

主な内容：レセプション、ホームステイ及び体験活動、工場見学等

芸術・文化活動振興

１　第４３回桑折町文化祭　　平成３０年１１月　３日(土)～１１月　５日(月)

① 総合展示会、高齢者作品展、芸能発表会、ダンス交流会等

２　文化講演会　　平成３０年１１月

３　第５７回如月杯囲碁将棋大会　　平成３１年　２月１０日（日）

公民館施設管理

１　各地区公民館施設管理業務

２　各地区公民館使用貸出業務

〔スポーツ振興関係〕

体育活動振興

１　スポーツ活動・団体支援育成事業

① 駅伝チーム育成　　ふくしま駅伝・伊達一周駅伝への参加

② 総合型地域スポーツクラブ支援　　活動育成金の交付及び活動支援

③ 大会派遣奨励事業　　全国大会等出場者への激励金交付

２　各種大会関係

① 桑折町民体育祭（１１団体）　　６月１７日～

② スポーツテスト（体力年齢測定）　　１０月　７日

③ 市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）　　１１月１８日

④ 館長杯バウンドテニス大会　　１１月２３日

⑤ 伊達地方一周駅伝競走大会　　１２月　２日

施設維持管理

1　体育施設管理・運営業務

2　体育施設使用貸出業務

〔文化・文化財関係〕

文化財総務

1　文化財保護審議会の開催及び研修会の実施

① 桑折町文化財保護審議会委員の会議

② 桑折町文化財保護審議会委員先進地視察研修

2　文化財関係団体活動支援（補助金交付）

① 桑折町文化財保存会

② 桑折町祇園ばやし振興会

3　文化財防火デー実施

① 文化財防火訓練

文化財保存整備

1　埋蔵文化財保護

① 開発に伴う埋蔵文化財試掘調査

2　文化財・史跡等管理業務

① 桑折西山城跡、半田銀山遺跡、つつじケ岡史跡公園等

3　史跡桑折西山城跡保存整備事業

① 本丸遺構・施設整備工事

② 平成31年度工事実施設計

文化記念館管理運営

1　管理運営

① 桑折町種徳美術館の公開

② 旧伊達郡役所の保存・活用

歴史まちづくり関係

1　桑折町歴史的風致維持向上計画事業の実施

① 桑折町歴史的風致維持向上計画推進協議会

② 桑折町歴史的風致維持向上計画庁内会議

2　桑折町歴史的風致維持向上計画に基づく事業

① 史跡桑折西山城跡関連整備関連事業

② 桑折宿歴史的風致形成建造物修景関連事業

③ 歴史・文化財を活かしたまちづくり推進事業 他

⑸生涯学習関係施設一覧

【公民館施設一覧】

区分	公民館名	電話	所在地
地区館	桑折公民館 （桑折町民会館）	582-2564	〒969-1613 桑折町字桑島三 103
	睦合公民館 （睦合ふれあい会館）	582-2468	〒969-1652 桑折町大字成田字坊ノ内 19-1
	伊達崎公民館	582-4313	〒969-1662 桑折町大字下郡字堂ノ前 11-1
	半田公民館 （半田ｺﾐｭﾆﾃｨｰｾﾝﾀｰ）	582-3121	〒969-1641 桑折町大字南半田字八反田 10-1
	中央公民館分室 （遊学館「よも～よ」）	582-5388	〒969-1643 桑折町大字谷地字道下 6-1

【体育施設一覧】

区分	施設名	電話	所在地
体育館	町民体育館	582-3713	〒969-1661 桑折町大字上郡字林泉寺前 1-1
テニスコート	桑折テニスコート	582-3713	〒969-1661 桑折町大字上郡字弁慶 25-1
	睦合テニスコート （閉鎖中）		〒969-1652 桑折町大字成田字久保 15
運動場	町民運動場	582-3713	〒969-1661 桑折町大字上郡字弁慶 20-1
複合施設	屋内温水ﾌﾟｰﾙ・多目的ｽﾀｼﾞｵ	582-3129	〒969-1661 桑折町大字上郡字弁慶 20-1

【文化施設一覧】

施設名	電話	所在地
桑折町文化記念館	582-5507	〒969-1617 桑折町字陣屋 12

【その他の施設】

施　設　名	所　在　地
桑折町地域交流センター	〒969-1617 桑折町字桑島二21-1

５　社会教育・スポーツ関係沿革

昭和２２年　桑折・睦合・半田・伊達崎公民館条例を制定し、各公民館を設置。
昭和２４年　社会教育法公布。桑折町公民館県表彰。
昭和２５年　第１回成人式挙行。伊達崎公民館に保原高校季節別学級設置。
昭和２７年　松原公民館新築。青年学級・婦人学級・成人学級開設。
昭和２９年　半田公民館新築及び県表彰。
昭和３０年　町村合併により桑折町桑折・睦合・半田・伊達崎公民館と改称、公民館条例制定。
昭和３１年　桑折婦人学級開設（文部省委嘱）松原公民館県表彰。
昭和３２年　旧桑折町役場庁舎に桑折公民館移転。
昭和３３年　醸芳高校伊達崎分室設置。
昭和３４年　桑折町公民館使用料条例を制定。
昭和３６年　地区青年学級４学級を中央青年学級１学級とする。
昭和３８年　桑折町公民館連絡協議会発足。第１回如月杯囲碁将棋大会開催。
昭和３９年　各公民館に家庭教育学級開設。
昭和４０年　各公民館の運営審議会を中央１本に統一。農村青年教室開設。
昭和４１年　公民館機能を整備し、本館館長に教育長が就任。地区館長を兼務。
公民館剣道場を桑折公民館に開設、第１回桑折町・国見町剣道大会開催。
第１回文化祭開催。農村建設班開設。
昭和４２年　機構改革により公民館を統合し、桑折町公民館と改め、地区館を分館に、分館を部落館とする。
文化講座開設。桑折町体育協会発足。
昭和４５年　青年学級３コース制（農業専修・社会教養・家庭）とする。
委嘱婦人学級県表彰。
昭和４６年　桑折町スポーツ少年団本部設置。桑折町青年会発足。
昭和４７年　福祉センター完成、桑折町公民館が入る。
昭和４８年　町民運動場完成，町民運動場条例制定。第１回大字対抗３５０歳ソフトボール大会開催。
昭和４９年　町民体育館完成，町民体育館条例制定。第１回ふるさとの遊び講習会及び大会開催。第１回館長杯争奪バレーボール大会開催。
昭和５０年　優良公民館として県教委表彰。企業内青年学級２学級開設。
幼児家庭教育学級開設。スポーツ振興審議会条例制定。
文化団体連絡協議会発足。
昭和５１年　町民プール完成。町民プール条例制定。優良公民館として文部大臣表彰。
桑折町社会教育振興計画策定。
桑折町体育協会を組織替えし、桑折町スポーツ協会と名称を変更。
昭和５２年　第１回町民運動会開催。
昭和５３年　児童向け図書巡回貸し出し開始（睦合・半田）。第１回少年ソフトボール大会開催。高齢者学級を高齢者大学・大学院制に改める。桑折町スポーツ協

会県教委表彰。

昭和５４年　母と子の公民館活動（親子読書教室）開設。
第１回桑折町・国見町マラソン大会開催。

昭和５５年　公民館剣道道場をスポーツ少年団に全面移管。
日独スポーツ少年団同時交流受け入れ。

昭和５６年　ふるさと少年教室開設。高校生地域活動事業開設。婦人リーダー教室開設。
桑折町青年団体連絡協議会発足。
桑折町公民館を改築、桑折町民会館として完成（桑折公民館併設）。

昭和５７年　桑折町青少年育成町民会議発足。青少年育成地区懇談会開催（２０ヶ所）。
明日の親のための教室開設。

昭和５８年　桑折町スポーツ協会文部大臣表彰。婦人ボランティア学級開設。
日独スポーツ少年団同時交流を受け入れ（２度目）。
学校開放事業「屋外運動場照明施設」伊達崎小学校に設置。
下成田集会所に（昭和５３年完成）睦合公民館が入る。

昭和５９年　高齢者教育促進会議・高齢者ボランティア教室開設。町内一周駅伝競走大会開催。３６０歳ソフトボール大会をスローピッチ４５０歳ソフトボール大会に改称。

昭和６０年　桑折町合併３０周年記念行事を開催。第３１回全日本一般男子ソフトボール大会開催。青年ボランティアグループ「紙風船」県表彰。アジア地域スポーツ交流事業を実施（マレーシアと交流）。

昭和６１年　中高年教育講座ナイスライフ教室開設。半田コミュニティセンター完成，半田公民館が入る。桑折勤労者体育センター完成。
桑折町文化団体連絡協議会設立１０周年記念式典挙行。

昭和６２年　桑折町スポーツ協会設立２０周年記念式典挙行。
日独スポーツ少年団同時交流受け入れ（３度目）。

昭和６３年　伊達崎公民館完成。少年リーダー（中学生）研修会開設。
第１５回東北総合体育大会（なぎなた競技）開催。
第４１回福島県総合体育大会ソフトボール（成年２部）開催。

平成　元年　第１６回福島県ゲートボール大会開催。第３回全日本クラブ男子ソフトボール普及大会開催。国際理解を深める少年教室開設。
桑折町スポーツ少年団日本スポーツ少年団表彰。

平成　２年　桑折町民テニスコート・クラブハウス完成。伊達崎女性講座開設。
第２回福島県縦断駅伝競走大会初出場。
ふくしま国体桑折町準備委員会発足。

平成　３年　Ｌ・Ａクラブ（青年学級）開設。半田コミュニティーセンター・伊達崎公民館管理人を常駐にする。ふれあいコミュニティー広場完成。半田コミュニティーセンター駐車場舗装工事施工。

平成　４年　桑折町スポーツ協会を桑折町体育協会に名称変更。

平成　５年　睦合テニスコート完成。第５０回国民体育大会ソフトボール競技リハーサル大会開催。第１回熟年女子バレーボール大会開催。

ふれあい公園完成。町民運動場夜間照明設備完成。

平成　６年　日本男子ソフトボールリーグ２部第３節桑折大会を開催（国体開始式リハーサル）。

平成　７年　第５０回国民体育大会ソフトボール競技成年２部を開催。
桑折町文化団体連絡協議会設立２０周年記念式典挙行。

平成　８年　町公民館条例を改正、本館の名称を中央公民館に改め、分館制度を廃止する。

平成　９年　伊達崎公民館に自転車置場設置。

平成１１年　睦合ふれあい会館完成、睦合公民館が入る。各地区公民館に館長（社会教育指導員）を設置。各地区公民館ごとの管理運営等を統一。

平成１３年　子ども情報誌を作成するための「伊達地区子どもセンター」設置。

平成１４年　児童・生徒が休日を有意義に過ごすためにボランティア指導者による「こおり地域クラブ」を開設。
「持ち込み講座」開設。ブックスタート事業実施。
桑折町スポーツ少年団結成３０周年記念式典挙行。

平成１５年　事務機構改革により中央公民館に生涯学習課を設置。
成人教室「町民カレッジ」を開設。家庭教育学級「親子教室」を開設。
桑折勤労者体育センター条例改正、名称を桑折町民第２体育館とする。

平成１６年　青少年の体験活動・ボランティア活動を積極的・効果的に推進するために「桑折町体験活動・ボランティア活動支援センター」を中央公民館内に設置。コーディネーター1名を配置。
「桑折町生涯学習推進基本計画」策定。
中央公民館外装改修塗装工事施工。
幼児用プール防水塗装改修工事施工。

平成１７年　少年教室「こおりキッズスクール」を開設。
町民プール防水工事施工。
ふれあい公園整備工事施工。
桑折町文化団体連絡協議会設立３０周年記念式典挙行。

平成１８年　各地区公民館長（社会教育指導員）を各館１名、計４名体制から、２館１名、計２名体制へとなる。
各公民館に夏休み学習室開設。

平成１９年　睦合・半田・伊達崎公民館に休館日（毎週月曜日）を設ける。
成人教室「町民カレッジ」を「こおり友遊くらぶ」に改名。
中央公民館に図書学習室を新設。
公民館・体育館関係条例を改正し、使用料を見直す。

平成２０年　第２０回全国生涯学習フェスティバルが開催。桑折町も見本市に出展。

平成２１年　学校支援地域本部事業に取り組む。

平成２２年　総合型地域スポーツクラブ「マルベリーこおり」が設立する。
第５２回全国社会教育研究大会福島大会に参加。
中央公民館及び町民体育館の耐震補強計画を策定。

平成２３年　東日本大震災により桑折町は震度６弱の震度を観測。甚大な被害が発生した。町民体育館は危険により閉鎖、中央公民館大ホールはステージと天井に被害を受け閉鎖する。また、福島第一原子力発電所の事故の影響により、町民プールの開設を見送る。

平成２４年　中央公民館は東日本大震災被害及びアスベスト材使用が確認され休館となる。その間桑折公民館へ事務所を移す。
町民体育館は修繕不能のため解体。

平成２５年　図書機能充実のため、民間の遊休施設を借り上げて、中央公民館分館（遊学館「よも～よ」）を設置。
中央公民館や町民体育館が使用不能となったことで、町民の活動に支障を来していることから、他施設の一部利用者の使用料を当分の間免除扱いとなる。
中央公民館解体撤去。
種徳美術館再開。旧伊達郡役所保存修理事業完了。

平成２６年　姉妹都市交流事業として、エリザベスタウン市への訪問団派遣を再開。
町民運動場バックネット裏屋根工事施工。
睦合公民館維持管理工事施工。

平成２７年　桑折町屋内温水プール・多目的スタジオ「イコーゼ！」完成、同条例制定。
「桑折町生涯学習推進基本計画（第２次）」策定。

平成２８年　「イコーゼ！」内に、屋内遊び場開設。
国道４号施設案内標識を掛け替え。

平成２９年　「中央公民館長」を専任配置。
「ふれあい公園」内に、屋根付屋外ステージ「ピーチウィング」完成。

平成３０年　桑折町体育協会設立５０周年記念式典挙行、同記念誌発行。
桑折町体育協会の名称を「桑折町スポーツ協会」に変更。

平成３０年度 桑折町教育委員会の重点全体構想

基本方針	復旧と復興から創生をめざす桑折町総合計画『献上桃の郷こおり創造プラン』に基づき，町の未来像「みんなとつながり みんなが活躍できる 安心のまち桑折」の実現に向け，教育・文化・スポーツ行政を推進する．
基本目標	「志高い人材を育む“学び”の醸成」を推進するため 1 知・徳・体の基礎を身につけ、高い志を持った「桑折町の１５歳のめざす姿」の実現 2 保育所・幼稚園から小学校・中学校までの育ちと学びの一貫性を大切にした教育の推進 3 各世代の学びを醸成する生涯学習活動の推進、社会体育、生涯スポーツ活動、文化芸術活動の振興

「桑折町の１５歳のめざす姿」の実現

生涯学習・生涯スポーツの基盤形成，文化の継承

重 点 施 策

□ 子ども・子育て支援事業の推進
□ 乳幼児保育の充実
□ 幼稚園教育の充実
□ 幼児教育にかかる経済的支援
□ 教育内容の充実
□ 教育施設の充実
□ 学校教育にかかる経済的支援
（こども教育課）

□ 屋内遊び場を活用した子育て支援の充実
□ 生涯学習活動の推進、芸術･文化の振興、他文化交流の促進
□ 公民館施設・体育施設等の充実
□ 健康・体力づくりをめざす生涯スポーツの推進
□ 青少年の健全育成
（生涯学習課）

主な全体企画

◇ 乳幼児保育・教育の充実
◇ 子ども・子育て支援事業の推進
◇ 「生きる力」を身につけさせる「生活習慣改善・学力向上・体力向上・生徒指導・特別支援教育の取組
◇ ふるさと学習の推進
◇ 各種教育課題への取組
◇ 教育施設の整備と経済的支援

主 な 重 点

◇ 生涯学習の推進
◇ 社会体育・生涯スポーツの振興
◇ 文化財の保護・活用

平成３０年度の主な事業

○ 知･徳･体バランスの取れた質の高い幼児教育の推進
○ 子どもの健やかな成長と保護者が安心して子育てできる支援事業の推進
○「桑折町の１５歳のめざす姿」実現のための連携プロジェクト事業
○「学びのスタンダード」推進事業（授業・家庭学習ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞの充実）

○「イコーゼ！」の利活用推進
○「生涯学習推進基本計画（第２次）」に基づく事業の推進
○「桑折町歴史的風致維持向上計画」の推進

桑折町の15歳のめざす姿

桑折町教育委員会

桑折町においては、０歳から１５歳の義務教育修了時までの、子どもの１５年間の成長を見据えた教育を実施しています。その最終的な目標について、保護者・地域・こども園・学校等の教育にかかわる者すべてで共有するとともに、発達段階に応じて子ども自身にも理解させることにより、家庭・地域・学校等のそれぞれの教育の充実を図り、桑折の子どもたちの望ましい成長の実現をめざします。

高い志を持って、自分の将来を切り拓(ひら)いていこうとしている１５歳

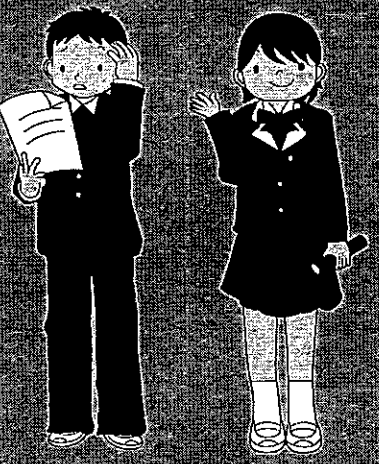
～社会的自立の基礎を身に付け、よりよい生き方を追求するとともに、社会の形成者としての基礎的資質を身に付け、共に生きようとしている１５歳～

家庭

【知】　学ぶ意義を理解し、習得した知識や技能を進んで生かそうとしている。

変化の激しいこれからの社会において、一人一人が自立して生きるとともに、社会の発展を支えることができるように、確かな学力を身に付けてほしいという願いのもと、具体的には次のような姿をめざします。

- ○　よりよい学習習慣・家庭習慣を身に付け、自ら進んで学習に取り組むことができている。
- ○　基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得している。
- ○　習得した知識や技能をもとに、自ら考え、判断し、表現している。



地域

【徳】　郷土愛に充ち、自他を大切にし、社会に貢献しようとしている。

ふるさと桑折町に生まれ育ったことに感謝しながら、今後もよりよい家庭・地域・社会を築いていくことができるように、郷土愛・礼節・思いやりを身に付けてほしいという願いのもと、具体的には次のような姿をめざします。

- ○　歴史と伝統を尊び、郷土に誇りを持っている。
- ○　自他を思いやり、よりよい人間関係を築いている。
- ○　社会の一員として決まりを守り、礼節を重んじる態度を身に付けている。

こども園　学校

【体】　心身ともに健康で，たくましく生きるための体力を備えている。

一人一人が生涯を通して生き生きとした生活を送ることができるように、心身ともに健やかで、どんな困難にも負けない精神力や体力を身に付けてほしいという願いのもと、具体的には次のような姿をめざします。

- ○　健康で安全に生きていくための知識や能力を身に付けている。
- ○　望ましい生活習慣や食習慣を身に付けている。
- ○　運動，スポーツに親しみ、心身の健康保持増進を図り、たくましい体力を身に付けている。

平成３０年度　醸芳保育所　所経営・運営ビジョン

【目指す保育所像】
～笑顔と歓声あふれる保育所～
◆乳幼児が健康で、安心して笑顔で生活できる保育所
◆幼児が清潔な環境で生き生きと活動している保育所
◆人々が親しむ、和やかさが醸し出されている保育所

【目指す保育士像】
◆専門性の研鑽を積む保育士
カリキュラムマネジメントにおけるPDCAの実施
研修等に積極的に参加し多角的な視点で保育にあたる
◆個々の特性を生かして保育にあたる保育士
発達段階を踏まえ、個々の乳幼児理解を深めながら保育にあたる
◆人間性豊かな保育士
所を取り巻く様々な人との信頼関係のもと、仕事に真摯に取り組む
◆保護者に寄り添いながら乳幼児の育ちを援助できる保育士
乳幼児に実態を把握し、保護者と共により良い保育をめざす

目指す幼児像
丈夫な体を持つ子ども(体)
友達とよく遊ぶ子ども(徳)
進んで活動する子ども(知)

教育目標
～心豊かにたくましく生きる子ども～

【乳幼児の実態】
◆母親や家人・保育士に甘えたい気持ちが大きい
◆受容されることで、安心して過ごす
◆生活習慣の一つ一つを保育士と一緒にじっくり取り組む
◆経験したことや感じたこと、考えたことを自分なりの言葉や身振りなどで伝えようとしている
◆友達や保育士と一緒に遊ぶことを喜んでいる
◆絵本やお話を見たり、読んでもらったりすることを好む乳幼児が多い
◆幼児自ら積極的に体を動かす姿が見られる

【保護者・地域の願い】
◆安全、安心な環境での生活
◆基本的生活習慣の確立
◆友達とのかかわりの経験
◆心身の健やかな成長
◆『桑折町の目指す１５歳の姿』に向けた素地の形成

受容的・応答的関わりのもとで、非認知能力を高める。

養護

【食育】
・食事の環境を整備し、食べたいという意欲を育て、食事のリズム・生活リズムを確立する。

【重点実践事項】
◆乳幼児の健康な心と体を育てるために、意図的・計画的に体を動かす経験を取り入れ、自ら体を動かそうとする意欲を育てる工夫。
◆年齢にあった絵本に親しめる環境を工夫し、絵本への興味関心を育てる。
◆新保育指針についての研修を行い、保育の質を高める。

養護と教育が一体となった保育

◆生命の保持
・安全な環境のもとで、生命の保持と生活の安定
愛情豊かな受容で、生理的欲求を満たし、自分でやろうとする意欲を育てる。
適切な生活リズムを整える。
◆情緒の安定
・安心できる保育者との関わりの中で、情緒の安定
好奇心を持って、様々なものに関わる。
スキンシップの機会を多く持ち、心の安定を図る。
自我の芽生え（友達との関わりの経験の中から、自分の思いや欲求を言葉で表現しようとしたり、我慢しようとしたりする心の力を育てる。

教育

【領域】
◆健康(歩行・運動・基本的生活習慣・安全)・体を使った遊びを楽しむ。
◆人間関係(保育士・友達・地域の人々・家族)・保育士や友達に自分の思いや欲求を言葉で表現する。
◆環境(玩具・遊具・自然・施設・動植物)・身近な玩具・遊具・自然に触れ、保育士や友達と一緒に遊ぶ。
◆言葉(聞く・発語・会話・絵本)・保育士との応答的な関わりの中から、簡単な言葉を使って自分の気持ちを表そうとしたり、言葉のやり取りをたのしんだりする。
◆表現(ペンサイン・模倣・見立てる・歌う・踊る)・興味のあるものを模倣したり、保育士と一緒に歌ったり、踊ったりする。

家庭や地域等との連携計画による。

【家庭との連携】
◆保育所便りを通して、保育目標・保育所での様子・行事・健康管理・連絡事項を知らせる。
◆毎日の連絡帳の記入を行い、健康状態・食事の内容や量・家庭や保育所での様子を知らせ合う
◆降所時には、直接保護者と話せる機会を作り、信頼関係を深めて、家庭と一緒に乳幼児の成長を援助する。
◆規則正しい生活環境づくりの推進保育所便り等で知らせる。
（生活リズム『早寝早起き朝ご飯』の励行）
◆幼児教育への理解促進（家庭教育学級の実施・ホームページの充実）

【その他の事項】
◆保護者の養育力につながるよう支援し、家庭との連携を図る。
◆自己評価を基本にしながら、保育指導力の向上につながるよう、研修を深め、保育の充実に努める。
◆日本の伝統的な食事を取り入れ、栄養のバランスを考え、衛生的で安全な食事を提供する。
◆アレルギー食への対応も行い。ヒューマンエラーを最大限防ぐよう対応する。
◆乳幼児の望ましい「家庭生活のポイント」の確立にむけて、家庭との連携を図った取り組み。

【幼・小・中との連携】
◆異年齢交流（幼保）
◆憧れの気持ち、いたわりの気持ちを持つ機会
◆ボランティア、実習等の受け入れ

【地域との連携】
◆地域の人や施設とのかかわり
・サロン交流会・『イコーゼ』利用
ボランティア支援センターの活用

平成３０年度　醸芳幼稚園　園経営・運営ビジョン

【目指す園像】
～笑顔と歓声あふれる幼稚園～
◆子どもも教師も生き生きと活動している園
◆人々が親しむ、和やかさが醸し出されている園
◆様々な遊びを誘発する新鮮で清潔な環境の園

【目指す教師像】
◆専門性の研鑽を積む教師
カリキュラムマネジメントにおけるPDCAの実施
研修等に積極的に参加し多角的な視点で保育にあたる
◆個々の特性を生かして保育にあたる教師
発達段階を踏まえ、個々の幼児理解を深めながら保育にあたる
◆人間性豊かな教師
園を取り巻く様々な人との信頼関係のもと、仕事に真摯に取り組む

目指す幼児像

丈夫な体を持つ子ども(体)

友達とよく遊ぶ子ども(徳)

進んで活動する子ども(知)

教育目標

～心豊かにたくましく生きる子ども～

【幼児の実態】
◆経験したことや感じたこと、考えたことを自分なりの言葉で伝えようとする幼児が多い。
◆友達や教師と一緒に遊ぶことを喜んでいる。
◆絵本やお話を好む幼児が多い。
◆幼児自ら積極的に体を動かす姿が見られ、それに伴い体力・運動能力が向上している。
◆多くの友達とふれあうことで、お互いに刺激し合い切磋琢磨している姿が見られる。

【保護者・地域の願い】
◆安全・安心な環境での生活
◆基本的生活習慣の確立
◆たくさんの友達との円滑なかかわり
◆心身の健やかな成長
◆『桑折町の目指す15歳の姿』に向けた素地の形成

【領域】
◆健康
(運動・基本的生活習慣・安全)
◆人間関係
(教師・友達・地域の人々・親)
◆環境
(自然・物・施設・動植物)
◆言葉
(聞く・話す・絵本)
◆表現
(感性・閃き・創造性)

【重点実践事項】
◆幼児の健康な心と体を育て、体を動かす心地よさや楽しさを感じ取らせる教師のかかわりの工夫。
◆豊かな心が育つように絵本に興味が持てる場や提示及び経験や活動の提示の工夫。
◆知的好奇心を満足させるような環境の工夫。
◆事故なく安心して生活できる環境の提供。

【その他の事項】
◆支援を要する幼児への適切な指導と保護者支援。
[illegible]

・基本的な生活習慣の獲得
・規則性、法則性・関連性等の発見
・様々な気づき、発見の喜び、身体感覚の育成
・日常生活に必要な言葉の理解
・身体的技能や、美術表現のための基礎的な技能の獲得等

・試行錯誤・工夫
・予想、予測、比較、分類、確認
・他の幼児の考えなどに触れ新しい考えを生み出す喜びや楽しさや理解。
・言葉による表現・伝え合い・振り返り次への見通し・自分なりの表現等

遊びを通しての総合的な指導

・思いやり・安定した情緒・自信・相手の気持ちの受容
・好奇心、探究心・葛藤、自分への向き合い、折り合い
・話し合い、目的の共有、協力、表現する喜び
・色、形、音等の美しさや面白さに対する感覚
・自然現象や社会現象への関心等

環境を通して行う教育

◆　幼児一人一人の行動の理解と予想に基づいた意図的、計画的な環境の構成
◆　幼児期にふさわしい生活の展開　◆　一人一人の特性に応じた指導

家庭や地域等との連携計画による。

【家庭との連携】
◆園便り◆園生活の様子
◆家庭訪問・学級懇談
個別懇談・降園時の連絡等◆ＰＴＡ活動
◆ファミリーティーチャー活動
◆規則正しい生活環境づくりの推進
(生活リズム『早寝早起き朝ご飯』の励行)
◆幼児教育への理解促進
(家庭教育学級の実施・ホームページの充実)

【保・小・中との連携】
◆異年齢交流（幼保、幼小、幼中)
◆憧れの気持ち、いたわりの気持ちを持つ機会
◆ボランティア、実習等の受け入れ

【地域との連携】
◆地域の人や施設とのかかわり
・サロン交流会・『よも～よ』『イコ～ゼ』利用
ボランティア支援センターの活用

とびっきりの笑顔を求めて　アクション2018

《愛と英知と活力》「誇りを持って、自分の未来を切り拓いていく」　　醸　芳　小　学　校

教師・保護者・地域の願い・児童の長所

・話をよく聞き、自分の考えをもつ
・主体的に学び、集中して取り組む
・心が優しい
・礼儀正しく素直
・善悪の判断ができる

【児童の長所】
・運動や遊びに目標を持って取り組む
・学習態度や学び方が定着しつつある
・あいさつや思いやりが育ちつつある
・きまりを守る大切を理解している

教育目標

・健康で明るい子ども
（困難に負けない精神力・体力・活力）
・よく考えて学ぶ子ども
（研ぎ澄まされた知恵）
・親切で思いやりのある子ども
（あふれる愛）

地域貢献

・桑折町総合計画の推進（献上桃の郷プロジェクト等）
・ふるさと学習の推進
・子どもがふれあう世代間交流
・地域人材バンクの積極的活用
・ボランティア活動
・積極的な街頭活動（朝、放課後）
・町、地区への協力、地域行事への参加

ワンランク上の教育活動（カリキュラムの充実とチャレンジ）

知（英知）
（1）確かな学力の確立
①小学校のこの時期に身に付ける基礎基本の徹底
②ワンランク上の授業の構想
スタンダード＆チャレンジ、教科担任制の推進
（算数・数学オリンピック、6年生全員、他の学年50%参加）
③授業スタンダードを活用した授業の充実
④各教科におけるアクティブラーニングの充実
⑤家庭学習と学校での学習のリンク
家庭学習スタンダード、桑折町学びのスタンダードの活用
（2）積極的な読書活動
①朝の読書活動の継続、家読の積極的な推進
②家読の推進、ビブリオバトルへの取組
（3）各種コンクールへの参加

徳（愛）
（1）道徳的実践力の向上
①考える道徳・議論する道徳の授業の推進
②礼節、自尊感情、規範意識、畏敬の念
③和顔愛語の実践
（2）落ち着いた生活態度形成の場の重視
（3）道徳的実践の場の充実
①体験活動の充実
②魅力ある教材・体験の開発
（4）挨拶の励行
（5）無言移動・無言清掃の徹底
（6）17字のふれあい参加（80%）

体（活力）
（1）体力の向上
①身体測定、健康診断、体力テストの活用
②運動身体づくりプログラムの活用
（2）健康教育の推進
①保健室経営の充実
②早寝早起き、3食、歯磨き、遊び
（3）安全教育の充実
交通事故防止・防災への取組
（4）はやぶさ活動の継続
ふくしま体力向上総合プロジェクトへの参加

ふるさと学習（シビックプライド）
（1）地域に残る伝統文化に関心を持ち尊重する態度の育成
①地域の残る文化遺産を活用した学習（追分、伊達氏ゆかりの史跡、西根堰、半田の歴史など）
②地域の行事（祭り）などへの参加
（2）町（歴史まちづくり推進プロジェクト）・保存会等とのパートナーシップ
①外部人材の積極的な活用

食育
（1）食に関する知識と望ましい食習慣の育成
①学校給食を活用した食育の充実
②家庭の啓発と連携（PTAとの連携など）
③外部講師の活用
（2）食育関係機関（関係者）とのパートナーシップ

教員の実践的指導力の向上
（1）ワンランク上の指導
（2）小学校のこの時期に身に付ける基礎基本の徹底
（3）教師が子どもと向き合う時間の確保
①組織力の向上（校務運営の充実）
②多忙化解消（削る努力、重点化）
（4）校内研修の充実（外部講師の活用）
①現職教育（算数科を視点とする）の充実
②積極的な授業公開（パイロット校の実践）
（5）自己研修の充実
①研修会等への積極的参加
（6）「授業を創る」の活用

コラボレーションを重視した迅速かつ適切な職務の遂行

感度を高め共有化を図る危機管理意識の徹底

地域が学校を応援、学校が地域に貢献（シビックプライド）

PDCAがスパイラルに作用

郷土愛からシビックプライド
（1）地域の特色を生かした教育活動の推進
①地域教材の積極的活用の継続
②地域人材（伝統文化保存会など）の積極的活用
（2）保護者・地域住民との連携の推進
①基本的な生活習慣（地域や家庭での挨拶、SNSとの関わり等）の育成
②地域行事（祭り）への積極的な参加等
③学校・PTA行事の地域発信（運動会、バザーなど）
（3）学校評価の推進
①自己評価・学校関係者評価の充実（学校評議員による評価）
（4）職員室だより、HP・マスコミによる情報の積極的発信
（5）積極的な地域貢献（環境美化、街頭活動、地産地消等）

評　価

評価（指導力等）
・教師の変容を見る
（授業研究会、各種研修会等への参加）
・日々の教室訪問

評価（指標、意欲等）
・子どもの変容を見る
（学習（学力調査）、生活等の面での変容）
・先生への手紙
・UQテスト

学校評価・人事評価
・自己評価、学校関係者評価
・児童アンケート
・保護者アンケート

「未来を拓く子育て支援と学びの町」（桑折町教育委員会重点の基本方針）

目が届く　手が届く　心が届く（チームビルディング）

平成 30 年度

学校経営・運営ビジョン

桑折町立睦合小学校

学校の経営方針
1 安全・安心，信頼される学校づくりの推進
2 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着とともに、その活用を図る学習活動の推進
3 共生の心を育み「いじめのない学校」をめざす
4 健やかな心身を育てる健康教育の推進
5 心を育てる道徳教育と人間尊重の精神に立つ人権教育の推進
6 読書指導の充実
7 特別支援教育の充実
8 指導力を培う校内研究・研修充実

教育目標

向上心を持ち 実践力のある児童の育成

～見あげる心 かがやく目～

第6次福島総合教育計画
"ふくしまの和"で奏でるこころ
豊かなたくましい人づくり
2018桑折町総合計画
教育委員会重点
「生きる力」を育む学校教育の充実
「桑折町の15歳のめざす姿」

元気な声がひびく学校

学ぶことが楽しい学校

うるおいのある学校

目指す児童像

元気でねばり強い子ども（基本的生活習慣を身につけて、目標に向かい努力することができる）
進んで学ぶ子ども（望ましい学習習慣を身につけ、主体的に学習に取り組むことができる）
思いやりのある子ども（自他を大切にする心を持ち、快くすすんで協力できる）

睦みっ子

「元気でねばり強い子ども」の育成（健やかな心と体の育成）

1 基本的生活習慣を育成します。
・心身の健康を保つ生活習慣の育成。（早寝・早起き・朝ごはん）

2 体力の向上を図ります。
・「体力向上1校1実践」の実施。
・運動身体プログラムの実践による授業充実。

3 健康・安全教育の充実を図ります。
・専門家による食育授業と健康管理の推進。
・健康・安全・放射線教育の充実。

「進んで学ぶ子ども」の育成（確かな学力の定着）

1「主体的，対話的で深い学び」をめざす授業を実践します。
・学び方を身に付け，活用・表現力を高める。授業づくり（学びのスタンダード）
・読み書き計算のくりかえし学習の充実。
・授業ノートづくりと活用。

2 自ら学ぶ学習習慣を育成します。
・家庭と連携した家庭学習の推進。（家庭学習スタンダード）
・自主学習の工夫。

3 読書習慣を育成します。
・学年必読書の設定と読書奨励。
・家読の推進。

「思いやりのある子ども」の育成（豊かな人間関係づくり）

1 望ましい集団を作ります。
・支持的風土のある学級づくり。
・自分の思いや願いを表現する力の育成。

2 自他の命を大切にする豊かな心を育みます。
・授業「道徳」の充実。
・よさを伸張する指導の充実。
・自己肯定感・存在感の醸成。

3 体験活動・ボランティア活動を充実します。
・直接体験やボランティア活動の機会の充実。
・縦割活動（異学年）の充実。

特別支援教育の充実

○個に応じた支援充実　○関係機関・専門家との連携充実

目指す教師像

○ 教育愛に満ちた教師
○ 専門性を磨く教師
○ 人間性豊かな教師

家庭との連携

○ 積極的な情報発信（連絡メール）
○ 学校へ行こう週間，学校評価の実施
◎ メディア教育の推進（町連携）
◎「家読（うちどく）」の推進（町連携）

保護者の願い

○安全で安心な生活を送らせたい。
○確かな学力を身につけさせたい。
○基本的生活習慣を身につけさせたい。
○健康で強い心と体を育てたい。

地域との連携

○ ふるさと学習の充実　○ ゲストティチャーの活用　○ 幼稚園や小・中学校等との連携
○ 運動会での地区種目　○ 学校評議員会の開催　○ 地域の学習・運動等機会への積極的な参加の奨励

平成30年度　学校経営・運営ビジョン　半田醸芳小の教育　2018

伊達郡桑折町立半田醸芳小学校　　児童数１０６名　　教職員数　１５名

【教育の理念】

① 自他を尊重し，学び合う意欲と知的好奇心に満ちた心身ともに健康な子どもの育成

② 信頼を基盤とし，保護者，地域と連携した開かれた学校づくり

③ 安心・安全を実現する学校環境の構築

教育目標

考える子（知）　思いやりのある子（徳）　たくましい子（体）

重点目標

夢いっぱい　笑顔いっぱい　元気いっぱい

【児童の実態】
- やさしい気持ちで友達に接する
- あいさつや会釈ができる
- 自分の考えを表現する意欲が見られる
- 活用する力が不足
- 気づき，考え・判断し，行動する経験が不足

【保護者・地域の願い】
- 思いやりのある子に育ってほしい
- 家庭学習の習慣をしっかり身に付けてほしい
- 挨拶や言葉遣いをきちんとしてほしい
- 安全な生活を送ってほしい
- 確かな学力をつけてほしい
- 進んで読書をする子になってほしい

知力　確かな学力　夢いっぱい

◇ 各種テスト全国平均１０５％ ◇

A　基礎的・基本的事項の定着を図りながら、「わかる・できる授業づくり」に取り組み、活用力を育成する。
B　保護者と連携・協力し、学びの習慣の確立及び読書活動の充実を図る。
C　外国語科試行・外国語活動及び特別の教科道徳の充実を図り、将来の夢を育む「子ども主体の学習活動」が成立するようにする。

A－①　基礎的・基本的事項の定着
○　個に応じた指導の工夫と基礎・基本の定着を図る授業づくり
○　ＩＣＴの効果的・積極的・継続的な活用
A－②　活用力の育成　【桑折町の15歳のめざす姿：授業改善】
○　「わかる・できるの授業」の実践
○　学びの質を高める学習集団の構築
○　「学びのスタンダード」の積極的な活用
○　指導力向上を目指した研修会の充実（互見授業の実施）
B　学びの習慣を確立する「授業」「家庭学習」「朝の学習等」の学習サイクルの充実
○　授業、家庭学習、朝の学習（徹底反復「読み書き計算」、ぐんぐんタイム）の確実な実施【桑折町の15歳のめざす姿：学習の基盤づくり】
○　学年に応じた家庭学習の仕方と内容の提示、家庭との連携による学びの習慣の確立
○　「ふくしまの家庭学習スタンダード」の効果的な活用
○　読書活動の充実（読み聞かせ・図書ボランティア等）と保護者との連携による家読（うちどく）の推進
C　外国語科試行・外国語活動の充実
○　外国語科試行・外国語活動の移行期間の学習の充実
○　Ｒ－ＰＤＣＡサイクルを生かした指導と改善
○　キャリア教育の充実

心力　豊かな心　笑顔いっぱい

◇ 元気にあいさつ１００％ ◇

A　誰とでも仲良く助け合う児童を育てる。
B　特別の教科道徳や教科等の指導や人との関わり合いを通して、豊かな人間性を育成する。
C　特別支援教育の充実を図る。

A　誰とでも仲良く助け合う児童を育てる。
○　互いに認め合い、思いやりのある学級集団づくり
○　積極的な生徒指導の推進
○　自己肯定感の向上を図る日常生活指導の工夫（活躍の場、称賛の場、「ちょボラ運動」）

B　特別の教科道徳や教科等の指導や人との関わり合いを通して、豊かな人間性を育成する。【桑折町の15歳のめざす姿：心の教育】
○　特別の教科道徳の時間の指導の充実
○　基本的生活習慣の定着【桑折町の15歳のめざす姿：生活基盤づくり】
○　人と関わり自己存在感の持てる活動の充実（異学年交流活動）
○　体験活動の充実「ふるさと学」（児童、教職員の地域行事への積極的参加、学校田による体験活動）
C　特別支援教育の充実を図る。
○　特に支援を要する児童への指導の充実
○　関係機関との連携（通級指導学級、大笹生養護学校、医療機関、ＳＣ等）
○　いじめ、不登校未然防止（半田醸芳小いじめ防止基本方針，【桑折町の15歳のめざす姿：心の教育】

健康・体力　健やかな体　元気いっぱい

◇ 無欠席５０日以上 ◇

A　体育科における授業づくりの工夫や運動の日常化により、体力の向上を図る。
B　基本的な食習慣や生活習慣づくりを支援し、健やかな心身の育成を図る。
C　安全に関する指導の徹底を図る。

A　体力の向上
○　体育科授業の充実：「１学級１実践」の継続した取り組み
○　運動身体づくりプログラムを活用した体育科授業の充実【桑折町の15歳のめざす姿】
○　「走力」「柔軟性」を高める指導の継続
○　朝マラソン（朝なわとび）の取り組みと、各種校内記録会の実施
○　外遊びの推奨
B－①　食育の充実
○　食育の充実（食事のマナーとバランスのとれた食生活）
○　ＴＴによる「食育授業」の推進と「お弁当の日」の指導の充実
B－②　保健健康指導の充実【桑折町の15歳のめざす姿：体力向上】
○　「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣と朝食摂取率１００％
○　歯の衛生指導（フッ化物洗口の継続的実践、う歯治療率１００％）
○　自力登校の推奨・肥満出現率０％
○　メディアコントロールの推進
C　安全に関する指導の確実な実施
○　健康安全に生活する態度の育成と放射線教育の計画的・系統的な指導
○　具体的な場面（能出没・不審者・弾道ミサイル）を想定した指導による危険予知・回避能力の育成
○　緊急時の危機管理マニュアルの周知・徹底（児童引き渡し訓練の実施、地域と連携した防災教育）
○　毎月の安全点検の実施と改善

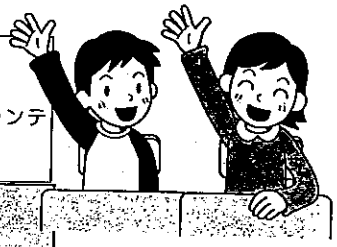
特色ある半田醸芳小ならではの教育活動

≪伝承文化継承≫
- □半田銀山祇園ばやし
- ※桑折町無形文化財指定
- ※学習発表会、町小中音楽発表会に３、４年生が披露

≪ふるさと学（桑折町の15歳のめざす姿：心の教育）≫
- □土曜学習（ホタル学習、だんごさし）
- □地域素材・人材の積極的活用
- □半田銀山等地域の歴史

≪環境学習≫
- □緑の少年団の活動
- □森林学習（低学年・中学年）
- □福島議定書への取組み、節電・節水見守り隊・パトロールの実践

≪図書の読み聞かせ≫
- □春夏秋冬の読み聞かせ会の実施
- ※読み聞かせボランティア、図書ボランティアの方の協力

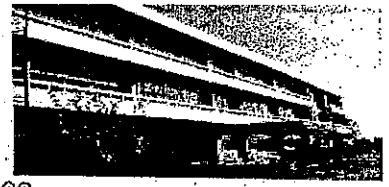


地域素材や人材の活用による学習の充実（地域を知り，故郷を愛せる子どもの育成）

仲間体験　**本物体験**　**感動体験**

平成30年度

伊達崎小　学校経営・運営ビジョン



桑折町の15歳のめざす姿

高い志を持って、自分の将来を切り拓いていこうとする15歳

(知) 学ぶ意義を理解し、習得した知識や技能を進んで生かそうとしている
(徳) 郷土愛に充ち、自他を大切にし、社会に貢献しようとしている
(体) 心身ともに健康で、たくましく生きるための体力を備えている

教育目標

知徳体の調和のとれた豊かな人間性と実践力のある子どもを育てる

◆よく考え、本気で学習する子ども（知）
◆心豊かな、礼儀正しい子ども（徳）
◆明るく、元気にやりとげる子ども（体）

学校経営方針
～信頼される学校を目指して～

- 学力向上（授業第一）…
- 自己肯定感の向上（励ましと賞賛）…
- 地域に開かれた学校（地域との連携）…
- 事故防止・不祥事防止（五つの約束）…

確かな学びを実現させるために

「共に学び合い、高め、つなぐ」

◇　教育活動全体を通して、「思考力・表現力・読解力」の育成に努めます。
・体験的な学習、問題解決的な学習の推進
・共に学び合い、思考を高める授業の推進
※子どもの主体的・対話的で深い学びへ
◇　個に応じた学習指導を推進します。
・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業
・個々の学力の分析と、個別指導・支援の工夫
◇　地域外部講師の積極的活用を通して、体験的活動の充実を図ります。
・生活科、総合的な学習の時間と教科学習を関連付けた体験学習活動の推進
◇　授業に向かう学習力・集中力を高めます。
・「読み・書き・計算の徹底反復」（週４回）実施
・「家庭学習スタンダード」の推進
◇　授業研修を計画的に行い、日常の授業改善と教師の資質向上を図ります。
・現職教育を中心とした、授業研究の実施
・県施策「学びのスタンダード」、町教委「授業改善・充実」の視点を基にした授業の改善
◇　読解力向上のため「読書活動」を推進します。
・読書習慣かに向けて
「読書賞」による意欲付け
「おすすめ本」コーナーの設置

豊かな心を育むために

「教育活動全体を通して」

◇　道徳の時間を要とし、各教科や行事と関連させ、教育活動全体を通して道徳性を培います。
・新学習指導要領の趣旨とねらいに沿った道徳科としての授業の実施（指導と評価の工夫改善）
◇　地域の教育力を生かした道徳教育を推進します。
・地域の体験活動を通した道徳性の育成
◇　「礼儀」「親切・思いやり」に重点を置き、教育活動全体を通して育成します。
・縦割り班活動や各種行事、委員会活動等の異年齢集団等の交流活動の推進
◇　心のケアと潤い（言語・緑化・音楽・掲示・整理整頓）のある環境づくりに取り組みます。
・縦割り班による学校花壇の整備作業
・作物等の栽培を通した「生命」を重んずる態度の育成
・言語環境・学習環境の整備
◇　郷土愛・愛校心を育むため、地域の素材を意図的に活用します。
・地域の方々との交流や地域素材を生かした体験活動の充実
◇　開かれた道徳の授業づくりに取り組みます。
・授業参観時の道徳の授業公開

健やかな体を育むために

「自分を知り、高める」

◇　自己の体力を知り、体育の授業づくりや運動の日常化を推進します。
・運動身体づくりプログラムの自校化（実態に応じたプログラムの作成）
・運動の特性に応じたブロック合同体育の実施
・多様な運動の励行と、「あぶくまマラソン」の実施
◇　地域や専門機関と連携して、健康教育を推進します。
・実態把握と基本的生活習慣の確立（年２回の生活習慣アンケートの実施と保護者への説明）
・町関係機関、保護者代表、教職員による「学校保健委員会」の開催
・給食センター栄養士・町管理栄養士による「食に関する指導」の実施
◇　「安全で安心な学校づくり」の具現化を通して、「生き抜く力」を育む教育を推進します。
・教職員の責任と使命感を土台とした、危機管理意識が継続できるような体制の確立
・関係機関と連携した避難訓練・防犯教室による、危険予知と回避能力の育成
・災害対応に関する正しい知識を育てる防災・減災教育の実施

地域・家庭を基盤として

「ディスカバー・伊達崎」

- 地域が学習の場
- 地域の人が、みな先生
- 未来へ発信

【家庭との連携】
○「家庭学習スタンダード」「家読」の推進
○ホームページ・学校・学年だよりによる情報の発信
○家庭訪問・個別懇談・学級懇談等の充実

【地域との連携】
○地域素材・人材の積極的活用
○ホームページ等による情報の発信
○幼稚園・他小学校・中学校との積極的交流

平成30年度　桑折町立中学校　学校経営・運営ビジョン

＜生徒の実態＞

よさ ○ 素直で何事にも一生懸命取り組む。
○ 友達思いで優しい。
○ 真面目でルールを守ろうとする。

課題 ○ 高い目標に向かって努力すること。
○ 自主性と集団として高め合うこと。

＜生徒の願い＞

○ 進んであいさつができるようにしたい。
○ 生徒同士、生徒と先生が授業や日常生活で率直に話し合えるようにしたい。
○ 様々な交流の機会をつくりたい。

＜桑折町「義務教育終了時15歳の姿」から＞

～高い志を持って，自分の将来を切り拓こうとしている１５歳～

知 … 学ぶ意義を理解し，習得した知識や技能を進んで生かそうとしている。
徳 … 郷土愛に充ち，自他を大切にし，社会に貢献しようとしている。
体 … 心身共に健康で，たくましく生きるための体力を備えている

＜教育目標＞　自学・奉仕

基礎・基本を身につけ、社会に貢献できる生徒の育成
自学 ＝ 進んで学びねばり強く実践する生徒
奉仕 ＝ 思いやりがあり集団に貢献する生徒

＜保護者の願い＞

○ わかりやすい授業をしてほしい。
○ 学力を向上させてほしい。
○ 進路指導を充実させてほしい。
○ いじめ、不登校についての指導をしっかりしてほしい。

＜地域の願い＞

○ 落ち着いた学校であってほしい。
○ 学力を充実させてほしい。
○ 進路の希望を実現してほしい。
○ 差別のない学校であってほしい。

【目指す学校像】　学ぶ楽しさ成長する喜びを味わえる笑顔とうるおいがある学校　　生徒が夢や目標、志を持ちその達成に向けて努力している学校

本年度の重点努力事項

自学・教養　自ら学び，学力を高める生徒

○ 生徒が互いに高め合う授業をします
- 問題解決型の授業の構想、実践
- 自分の考えをもつ場と表現する場の設定
- 教員の授業力、特にコーディネート力の向上
- 授業研究の充実

○ 学力を定着・向上させます
- 学習の５つの約束の徹底
- わかるまで教え、できるまで支える学習指導
- 繰り返しの学習の充実と基礎力テストの実施
- 個に応じた家庭学習の習慣化の指導

○ 読書活動を充実させます
- 朝の読書の充実
- 良書の紹介と感想を交流する場の設定

利他・品性　正しく判断し思いやりをもって行動する生徒

○ 規範意識を高め、自主性を育みます
- ＴＰＯに応じた行動の指導の充実
- 朝自習、落ち着いた給食、無言清掃の徹底
- より良い醸芳中学校を目指す生徒会活動の活性化

○ いじめ、不登校に丁寧に対応します
- 道徳教育を中心とした思いやりの指導の充実
- ＱＵテストの意図的効果的な活用
- いじめの早期発見、早期対応
- 不登校への組織をあげた対応

○ 心の悩みの解決に努めます
- アンケート調査や教育相談による悩みや問題の早期発見・早期対応
- スクールカウンセラーによる全員面談の実施

健康・安全　体力の向上と健康づくりに進んで取り組む生徒

○ 健やかな体づくりと体力向上を図ります
- 目標を明確にした保健体育の授業など体力向上の取組
- 部活動の充実
- 校内駅伝競走大会の実施
- 確実な保健検査の実施
- むし歯の治療、肥満の解消への取組

○ 健全な生活習慣を形成します
- 学校給食を活用した食育の推進
- 「保健だより」などによる健全な生活習慣の重要性の啓発
- 「生活ノート」を利用した生活習慣の個別指導の充実

○ 命を守る安全教育を推進します
- 飛び出し、自転車のルールに重点を置いた交通安全教室の実施
- 防災教育、放射線教育の充実

奉仕・志　他者に貢献し，自らの志を育む生徒

○ 志の教育を系統的計画的に進めます
- 「職業人に学ぶ」「職場体験」「高校調べ」や入学式，立志式，卒業式等の学校行事の充実
- 総合学習や学級活動を中心とした生き方を考える教育の充実

○ 地域との交流を深めます
- サマーショートボランティア，地域清掃活動への積極的な取組
- 郷土の歴史の学習の充実

○ 保護者との連携を強化します
- 保護者参観（授業参観，醸中祭，三者面談等）の充実
- ＰＴＡ委員会活動の充実・発展
- 学校だより，学年だより，保健だよりの定期発行
- 学校ホームページの更新

【醸芳中学校の課題に向き合う教師像】　親身になって生徒の話を聞き真摯に向き合える教師　　学校の円滑な運営そして指導力向上のために他から学ぶ教師　部活動に熱心な教師